

Happy Link ソフトウェア マニュアル



303630353130J

HAPPY

目次

本製品について

動作環境	3
このソフトの特徴	4

セットアップ方法

PCへのインストール	7
アンインストール方法	12

操作前の準備

基本的知識と 操作	14
終了	18
シリアル通信設定	19
刺繍機との接続(準備)	
通信設定方法	
ケーブルについて	21
オプション(刺繍機仕様に合わせる)	23
設定方法	
USBドライバの組み込み	25

使ってみましょう	28
----------	----

各機能と 使用方法

操作モード	30
ボタンの説明	
ツールボタンの説明	33
各機能の使用法(操作モード)	35
柄管理	35
針棒選択	36
糸色変更方法	
柄調整	39
繰り返し	40
オフセット	41
フレームアウト	42
自動原点復帰	43
枠位置	44
枠位置指定	45
基本機能	46
回転スピード表示	49
現在針数	49
文字縫い	50

目次

転送モード	51
主な機能	
ツールボタンの説明	53
インジケータについて	54
各機能の使用法(転送モード)	55
柄の読み込み	55
読み込み方法	
柄ファイル選択ダイアログでの柄の読み込み	
ドラッグ & ドロップでの柄の読み込み	
各種設定読み込み/書き込み(etc. func オプションについて)	
柄情報表示	
印刷	59
柄の保存	60
刺繍機への柄送信	61
刺繍機側での受け入れ準備	
柄の転送	
枠チェック(読み込んだ柄の枠確認後の	63
チェックと設定方法)	
針棒選択	68
糸色変更方法	
柄調整	71
繰り返し	72
フレームアウト	73
オフセット	75
背景色の変更	76
ジャンプ表示	76
針落ち点表示	76
針落ち点の大きさ変更	76
ズームイン・アウト	76
色ブロックごと表示	76
視点移動	77
簡易編集	78
生産データ表示	86
ウインドウのファイル表示配置	87

トラブルシューティング

操作モード関連	88
転送モード関連	90

用語解説	91
------	----

本製品について

動作環境

本製品をパーソナルコンピュータで使用するには、以下の条件を満足していなければなりません。

対応パソコン

IBM PC/AT 互換機

使用可能な OS

Windows 98 (Second Edition を含む)

Windows 2000 Professional

Windows Me

Windows XP Home Edition

注意:

上記以外の OS ではこのソフトを使用できません。

CPU

Pentium2, 400MHz 以上 (または、これに相当するもの)

メモリ

32MB 以上 (64MB 以上推奨)

ハードディスク

20MB 以上の空き容量

解像度

800x600 256 色以上

マウスなどが使用可能

フロッピーディスク, CD-ROMドライブが使用可

本ソフトウェアのインストールには CD-ROMドライブが必要です。

USB または RS232C シリアルポート

柄の送信や、一部の機能で通信に使用します。

USB ケーブルは USB2.0 対応の、HI-SPEED ロゴ入りのもので、5m 以内のものをご使用ください。

このソフトウェアの特徴

パーソナルコンピューター（PQ と H A P P Y の刺繍機をケーブルで接続し、刺繍機への柄の送信と、刺繍機設定のリモート操作をおこなうソフトウェアです。（以下、「本ソフトウェア」を「HappyLink」とします。）「操作モード」と「転送モード」の2つの基本的モードから成り立っています。

RS232Cポートを持つPCでは、HappyLinkをサポートしていない刺繍機にも柄の送信が可能です。

※HappyLinkソフトに対応しない刺繍機では、機能が限定されます。

（「基本的知識と操作」の「刺繍機によるHappyLinkソフト使用可能機能」を参照して下さい。）

主な機能

1. 操作モード

1. 針棒切替（機種によって使用できない場合があります）
刺繍機の針棒を、切り替えて選ぶことができます。
2. 前進、後退（機種によって使用できない場合があります）
刺繍せずに、刺繍模様に沿って刺繍枠の動きだけを進ませたり、後退させることができます。
3. ポジション復帰（機種によって使用できない場合があります）
刺繍枠の位置を手動で動かしてしまった場合、動かす前の位置に戻すことができます。
4. 原点復帰（機種によって使用できない場合があります）
刺繍枠を刺繍開始位置に戻します。枠が原点に戻り、縫い始める位置がメモリー柄の先頭に戻ります。もう一度クリックすると、前の位置に戻ります。
5. トップ（機種によって使用できない場合があります）
刺繍のデータだけを、柄の先頭に戻します。
さらにクリックすると、柄データは元の位置に戻り、刺繍機側のトップマークは消えます。
6. 柄管理
刺繍機に記憶した柄の選択・消去・名前変更（リネーム）を行います。
7. 針棒選択
刺繍に使用される針棒の順番を設定します。
8. 柄調整
刺繍の拡大縮小・回転・振り幅調整・座標変換の設定をします。
9. 繰り返し
同じ刺繍柄を、指定した回数だけ繰り返して縫うための設定をします。
10. オフセット
刺繍枠が、オフセット指定した位置から、柄の始点に移動して刺繍を開始します。

11. フレームアウト

指定した色を縫い終えた後、枠を自動的に指定したフレームアウト位置に移動してから一時停止させます。

12. 自動原点復帰

刺繍完了後、枠が刺繍開始位置に自動的に戻ります。

13. 枠位置登録(機種によって使用できない場合があります)

刺繍機電源がオフのときに、枠位置を変えてしまった場合に、あるいは刺繍中に停電等で機械が停止してしまった場合に、電源投入後に元の位置に復帰できます(刺繍機側にこの機能がない場合は、淡色表示になっていて、使用できません)。

14. ダイレクト 枠位置指定

柄の針数や色替え番号、繰り返し個数の何個目かを指定して、刺繍せずにその位置に枠を直接に移動させます。

15. 刺繍設定

刺繍機の基本機能の設定をおこないます。

16. 回転スピード表示(機種によって使用できない場合があります)

スピード・現在針数表示ボタンをクリックすると、刺繍回転スピードを表示します。

17. 現在針数(機種によって使用できない場合があります)

スピード・現在針数表示ボタンをクリックすると、現在縫っている針数を表示します。

18. 文字縫い(機種によって使用できない場合があります)

刺繍機に内蔵された文字データを選んで刺繍します

2. 転送モード

1. 柄の読み込み

パソコンに保存されている刺繍データや、FDの刺繍データを読み込んで柄を表示します。

2. 針棒選択

刺繍柄の色替えに合わせて、刺繍する針の順番をセットします。

3. 柄調整

刺繍の拡大・縮小、回転、反転などを設定します。

4. 繰り返し設定

同じ柄を繰り返し、縫うことができます。

5. フレームアウト設定

指定した色を縫い終えた後、枠を前もって指定していた位置に移動する機能です。
刺繍途中に何らかの処理をしたい場合などに設定します。

6. オフセット設定

柄がオフセット指定した位置から柄の始点に移動する機能です。簡単に刺繍機にロードできます。

7. 簡易編集

柄データのステッチ(針数)の追加、消去、移動、ファンクションの追加、変更等の簡易データ編集です。

8. 刺繍機への柄の送信

表示されている柄を刺繍機に送信します。「針棒選択」や各種の設定内容は柄と同時に送信されます。

9. 柄データのセーブ

編集した柄や、各種設定(針棒選択や柄調整など)をPCやフロッピーに保存します。

10. 背景色の変更

画面に表示される柄の背景色を、変更することができます。

11. 枠チェック(読み込んだ柄が、枠確認後に送信されます)

柄送信後の柄位置と現在の枠位置を表示した後、画面上で移動した枠の位置へ、刺繍機の枠を移動し、その後、刺繍機へ柄を転送します。

12. 生産データ(機種によって使用できない場合があります)

生産データが表示されます。

13. 柄模様をプリンタに出力

選択柄を印刷できます。

14. 色ブロックごとの表示

「簡易編集」において、現在のステッチ(針数)位置の色ブロックのみを表示します。

セットアップ方法

注意: このソフトを使用するためには、Windows の基本的な知識が必要です。お使いになる OS の基本的な操作を習得した上でお使い下さい。

PCへのインストール

注意:

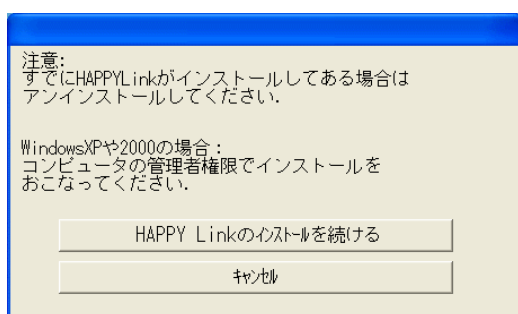
WindowsXP や Windows2000 を使用している場合は、管理者権限 (Administrator) でインストールして下さい。すでに Happy Link ソフトをインストールしている場合は、アンインストールを行った後、このソフトをインストールして下さい。

サンプル柄は、c:\program files\Happy\HappyLink\Pattern にインストールされます。

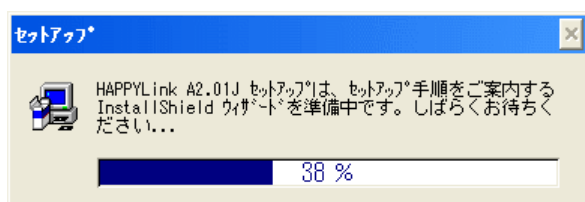
1. CDドライブに CD を入れます。インストールメニュー画面が自動的に表示されます。(しばらく時間がかかる場合があります。)「HAPPY Link インストール」をクリックして下さい。



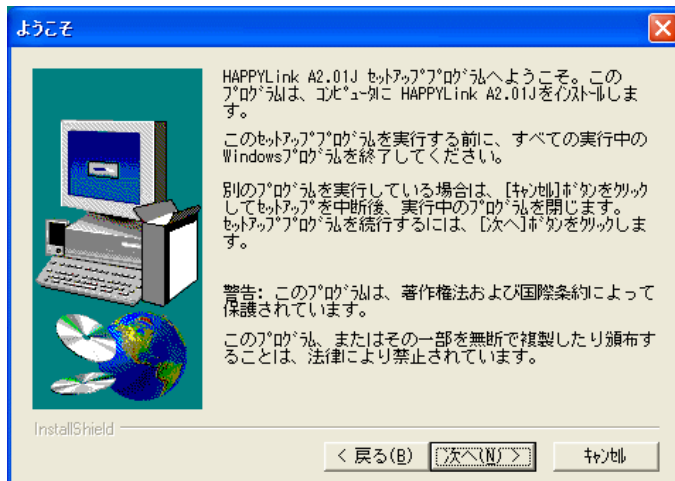
2. 確認メッセージが表示されます。良ければ「インストールを続ける」をクリックしてください。



3. 「セットアップ」の画面が表示され、HAPPY Link セットアップが、セットアップの手順を示すインストール ウィザードを準備します。(しばらく時間がかかる場合があります。)

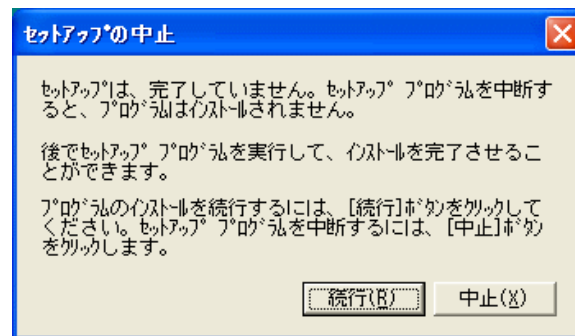


4. 「ようこそ」の画面が表示されます。「次へ」をクリックして下さい。
5. 「次へ」をクリックします。



注意:

1. 起動中のプログラムがあるならば「セットアップ」を中止するために「中止」をクリックして、一旦中断します。中断するかどうかのメッセージが出ますので「中止」を選択します。



2. その後、全ての起動中のプログラムを終了します。
3. CD-ROMを取り出し、再び、PCへのインストールを1項から行ってください。

6. ユーザー情報を入力して下さい。入力したら、「次へ」をクリックします。



7. 「次へ」をクリックします。(Happy Link をインストールするディレクトリを指定しています。)



(インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックしますが、特に変更する必要はありません。)

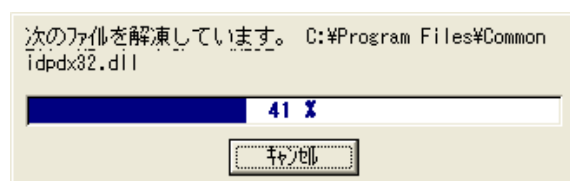
8. 「次へ」をクリックします。(使用するフォルダを指定しています。)



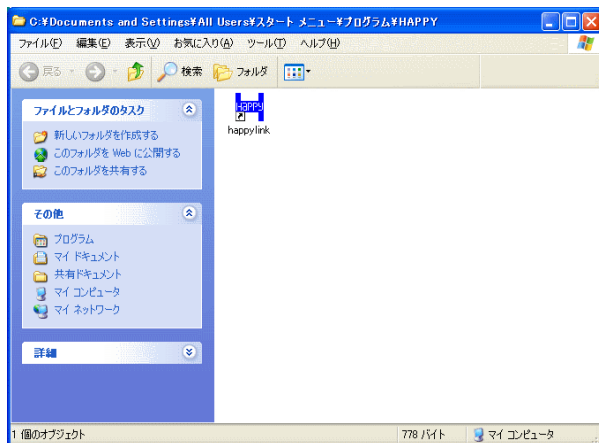
9. 「次へ」をクリックします。ファイルのコピーを開始します。



10. 解凍しています。



11. 「HAPPY Link」ができたフォルダを開いています。この画面の右上の「Xマーク」をクリックして、この画面を閉じます。



注意: パソコンによっては、項 11 と 項 12 の順番が逆になることがあります。閉じる順番が逆になってもかまいません。

12. セットアップが完了しました。「完了」をクリックして下さい。



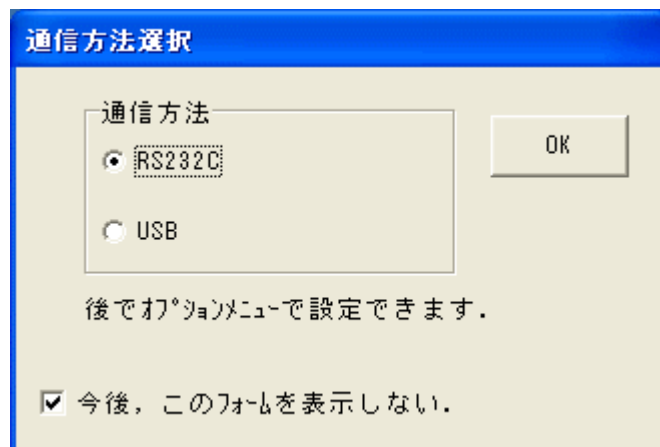
13. 再び、インストールメニュー画面が表示されます。
HCS1201 を USB で使用するには、USB ドライバのインストールが必要です。
刺繍機と USB ケーブルを準備して下さい。
使用している PC の OS に合わせて、以下のボタンをクリックして下さい。



詳細は、「USB ドライバの組み込み」をご覧ください。

14. インストールが終了したら，CD-ROMを取り出します．

HAPPY Link を起動すると，刺繍機との接続法の問い合わせウインドウが開きます．
使用する環境に合わせて，設定して下さい．なお，起動後も，「オプション」メニューの
「通信方法」で設定・変更が可能です．



アンインストールの方法

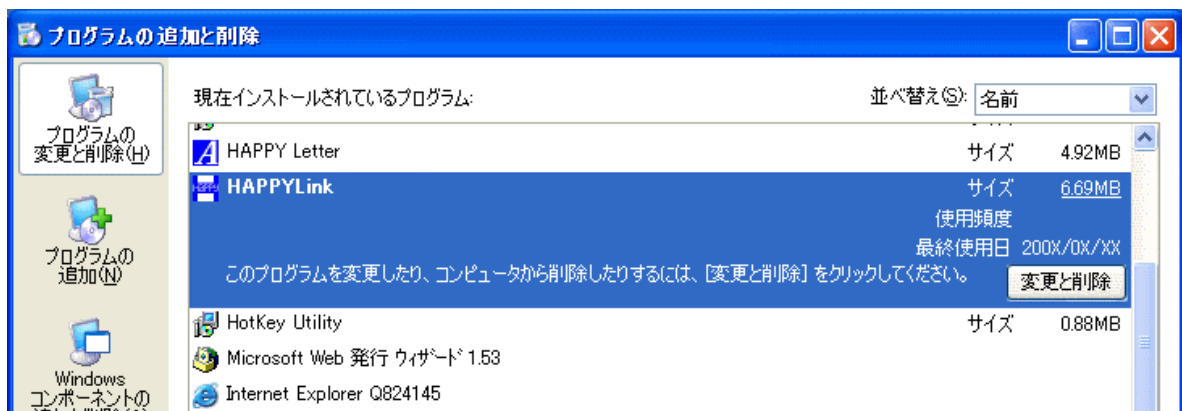
1. [スタート]－[設定]－[コントロールパネル]の順にクリックします。



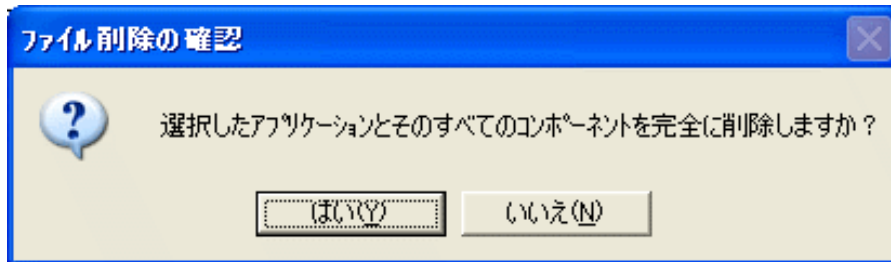
2. コントロールパネルの中から、「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。



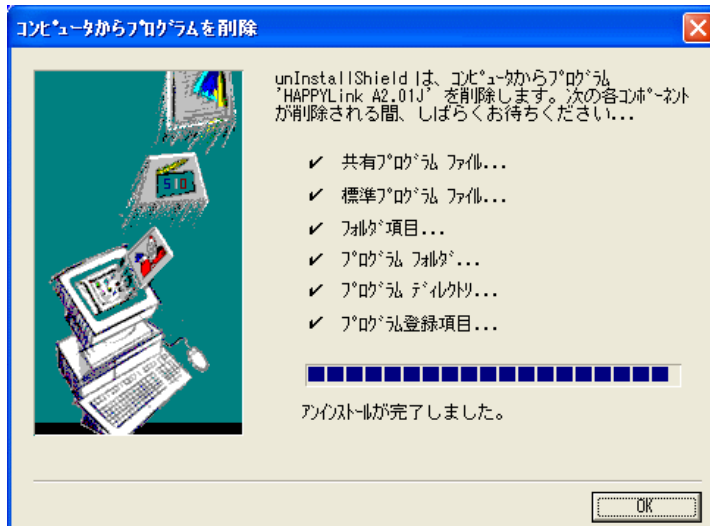
3. 現在インストールされているプログラムのリストから、「HAPPYLink」を選択し、「変更と削除」をクリックします。



4. アンインストール確認のメッセージが出ます。「はい」をクリックします。



5. 「OK」をクリックして、アンインストールを終了します。



注意:

共有ファイルを削除するかどうか聞いてきた場合は、「全ていいえ」を選択して下さい。

基本的知識と 操作

刺繍機 HCS と HAPPYLink との互換性について

HAPPYLink バージョン A2. **は、HCS1201 のバージョン A2. **に対応しています。また、このバージョンから、ワイド帽子枠が使用できます。HCS1201 のバージョン A1. **では、ワイド帽子枠は使用できません。HAPPYLink バージョン A3. **からは、HCS1201 の A2. **からとカラーモニター仕様に対応しています。

モード：

HAPPYLink ソフトには、
刺繍機を操作する「操作モード」
刺繍機に柄を送る「転送モード」
の2つのモードがあります。

[操作概略]

操作モード

パソコンから刺繍機設定を行います。設定は刺繍機で現在選択されている柄に対して行われます。

1. 操作モードにします（ソフト起動時は、転送モードになっています。）
2. 各種設定を行います。

転送モード

刺繍機に柄とその設定を送信します。

1. パソコンから柄を読み込み表示させます。
2. 各種設定を行います。
3. 刺繍機に送信します。

準備：

パーソナルコンピュータと刺繍機を RS232C か USB ケーブルで接続して使用します。

USB で使用するには、最初に USB ドライバーをインストールして下さい。

RS232C と USB の両方を接続したまま使用しないでください。どちらか一方だけを接続して使用して下さい。

RS232C の場合

1. RS232C ケーブルの接続

RS232C ケーブルの接続時は、必ず PC と刺繍機の電源をどちらとも切った状態で行って下さい。電源を ON の状態で行うと、機器を壊す恐れがあります。

シリアルケーブルのコネクタは、刺繍機側は 9 ピン（メス）か 25 ピン（オス）、コンピュータ側は、ご使用のコンピュータに合わせてください。詳しくは、「シリアル通信設定」をご覧ください。

注意：

USB を使用した後、USB から RS232C に変える場合は、「オプション」を再設定して下さい。「オプション」を参照して下さい。

起動時、または使用中に、「COM ポートが他で使われています」というメッセージが出る場合があります。これは、シリアルポートを他のソフトウェアが使用している場合に表示されます。この場合は HAPPYLink を終了してください。そして、シリアルポートを使用しているソフトウェアを終了してから、HAPPYLink を起動してください。また、他の COM ポートに設定してみてください。「シリアル通信設定」を参照してください。

USB の場合

1. 準備

PC側: HappyLink を終了して下さい。PCは電源を入れたままにします。

刺繍機側: 電源は切して下さい。ケーブルは接続しないで下さい。

USBケーブルは USB2.0 対応の、HI-SPEEDロゴ入りのもので、5 m以内のものをご使用ください。

2. ドライバのインストール

「USBドライバの組み込み」を参照して下さい。Windows XP の環境では、「ドライバの XP との互換性」についての警告メッセージが出ますが、必ず「続行」をクリックしてインストールを続けて下さい。ドライバの組み込み後は、再度インストールする必要はありません。

3. 「オプション(オプション)」設定

ドライバーのインストール後、刺繍機の電源を入れて下さい。

USBケーブルで PCに接続して下さい。

HappyLink をスタートして下さい。

HappyLink メニューの「オプション」の「通信方法」を「USB」にしてください。「オプション」を参照して下さい。設定は保存されます。なお、初回起動時は、通信方法を設定するボックスが表示されますので、これで同様に設定できます。

注意: 刺繍機を完全に起動してから、HappyLink を起動して下さい。

順序が逆の場合は、「USBが準備できていません」のメッセージが表示されます。この場合、USBを接続しても認識しません。HappyLink を終了して下さい。

刺繍機を起動してから、ケーブル接続を確認し、HappyLink を起動して下さい。

なお、ケーブルの接続が必要な機能は、以下の通りです。

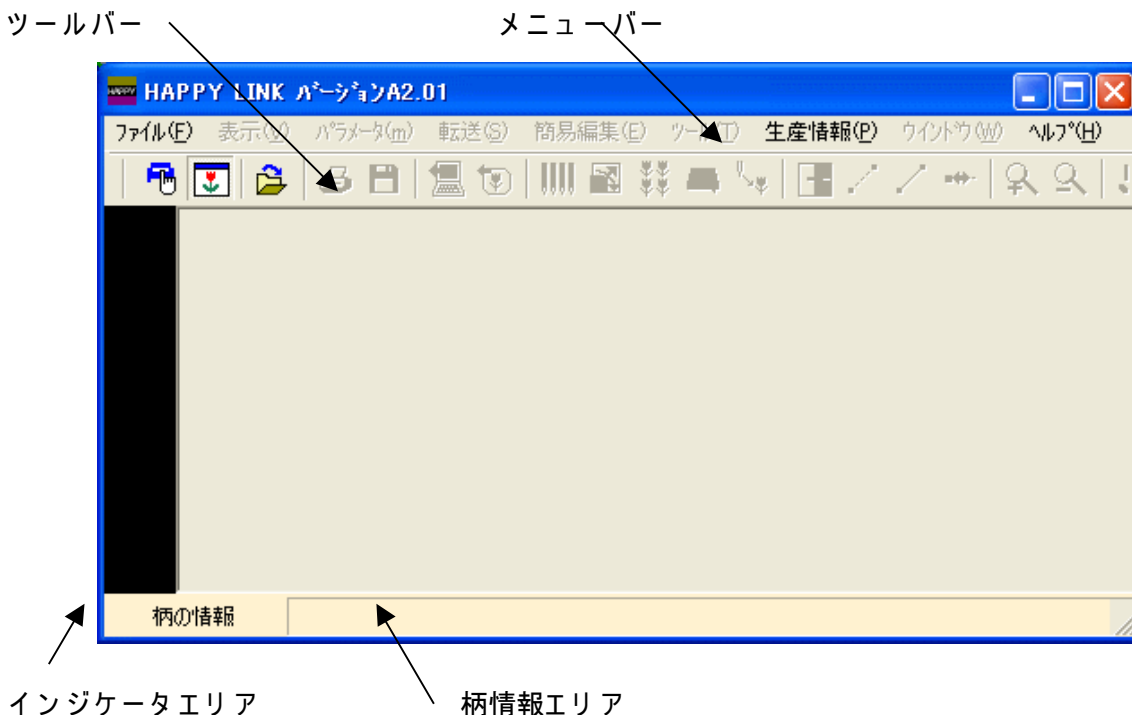
転送モード: 柄の転送、生産管理データの閲覧、枠チェック

操作モード: 全機能。

注意: 「基本的知識と操作」の「刺繍機による HappyLink ソフト使用可能機能」を参照して下さい。

HappyLink 起動直後の画面(常に、転送モード)

HappyLink を起動直後の画面を次に示します。



インジケータエリア

USB 接続の場合のみ、USB のインジケータが表示されます。



(グレー色)

通信が行われていない時は、点灯していません。



(緑色)

通信が行われているときだけ、点灯します。



転送モードボタン

HappyLink 起動直後や操作モードを終了した場合、押された状態になって転送モードであることを示します。



操作モード起動ボタン

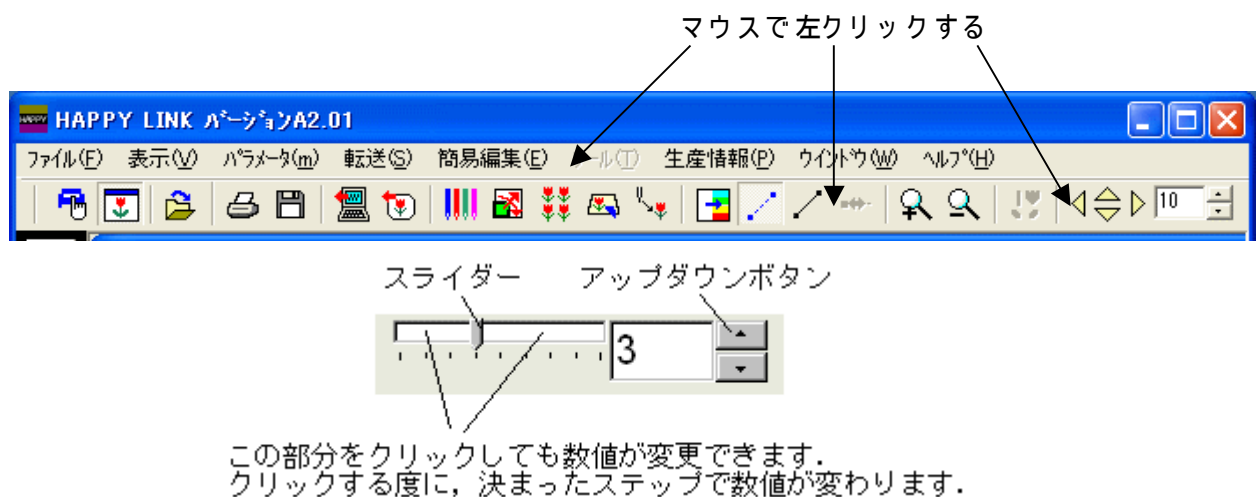
操作モードを起動する場合にクリックします。

注意:

刺繍機側に柄が無い場合は、2つのメッセージ「柄がありません」と「データを得ることができません。再試行して下さい。」が表示されます。また、操作モードは起動されません。転送モードで柄を送信してから、再度行って下さい。

その他のグレー化されたメニューやボタンは柄読み込み後に有効になります。
接続した刺繍機の機種により、有効にならない項目もあります。

マウス操作:



刺繍機による HappyLi nk ソフト 使用可能機能

使用できる機能は○印、使用できない機能は×印です。

HCS 刺繍機は、対応機です。

		対応機		未対応機	
ケーブル接続	RS232C	○		○	
	USB	○		×	
		PC接続	接続無し	PC接続	接続無し
操作モード					
針棒切替		○※1	×	×	×
前進		○※1	×	×	×
後退		○※1	×	×	×
ポジション復帰		○※1	×	×	×
原点復帰		○※1	×	×	×
トップ		○※1	×	×	×
柄管理（操作モード）		○	×	×	×
針棒選択（操作モード）		○	×	×	×
柄調整（操作モード）		○	×	×	×
繰り返し縫い設定（操作モード）		○	×	×	×
オフセット（操作モード）		○	×	×	×
フレームアウト（操作モード）		○	×	×	×
自動原点復帰設定（操作モード）		○	×	×	×
枠位置登録（操作モード）		○※1	×	×	×
ダイレクト枠位置指定（操作モード）		○	×	×	×
刺繍設定（操作モード）		○	×	×	×
文字縫い（操作モード）		○※1	×	×	×
スピード・現在針数表示		○※1	×	×	×
転送モード					
操作モードへの切替		○	×	×	×
転送モードへの切替		○	○	○	○
刺繍機へ柄送信		○	×	○	×
枠チェック（転送モード）		○※1	×	×	×
針棒選択（転送モード）		○	○	○※2	○※2
柄調整（転送モード）		○	○	○※2	○※2
繰り返し縫い設定（転送モード）		○	○	○※2	○※2
フレームアウト（転送モード）		○	○	○※2	○※2
オフセット（転送モード）		○	○	○※2	○※2
生産管理		○	×	×	×

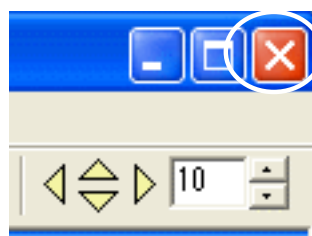
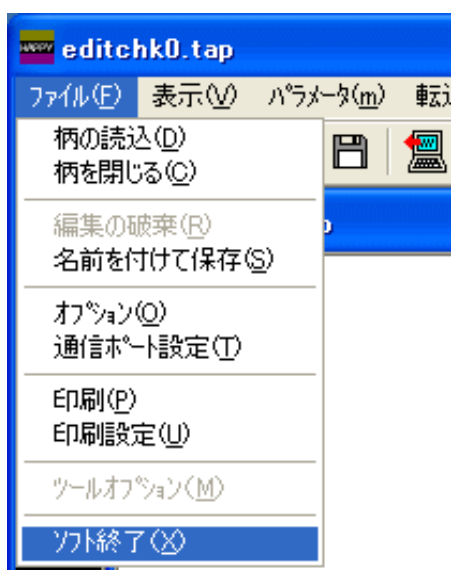
※1. 機種によりサポートしない場合があります。

※2. これらの設定は柄と共に送信されますが、機種によりサポートしない場合があります。

注意: HappyLi nk 未対応刺繍機では、メニューのオプションの [Machine Type] を「 Incompatible with HAPPYLi nk 」にして下さい。（「 オプション 」を参照して下さい。）
ダイレクト枠位置指定では、「 繰り返し個数 」による指定はありません。
オートシリアル機能が無い刺繍機で柄転送をする場合は、「 刺繍機への柄転送 」を参照して下さい。

終了

「メニューバー」－「ファイル」－「終了」の順にクリックする，または，HAPPYLinkプログラムのウィンドウを閉じてください。



シリアル通信設定

RS232C通信の設定ができます。

刺繍機との接続(準備)

パーソナルコンピュータのシリアルポートと刺繍機のシリアルポートを RS232Cケーブルで接続してください。クロスケーブルを使用してください。ストレートケーブルでは動作しません。仕様は、「ケーブルについて」を参照してください。

注意:

RS232Cケーブルの抜き差しの際は、必ず PCと刺繍機の電源をどちらとも切った状態で行って下さい。電源を ONの状態で行うと、機器を壊す恐れがあります。
また、RS232Cと USBの両方を接続したまま使用しないでください。

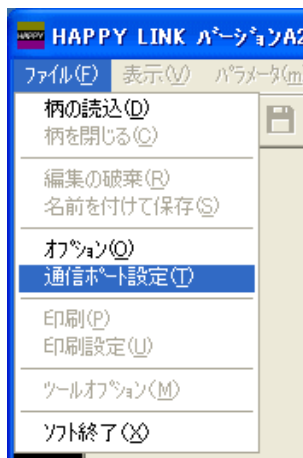
通信設定方法

ポート番号と通信速度の設定をしてください。

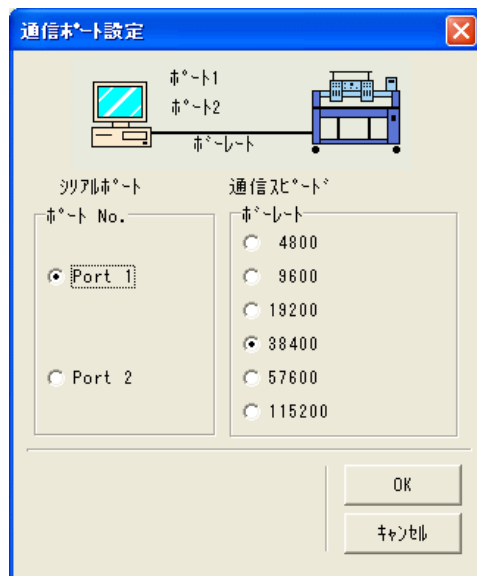
注意:

初期状態では、「ポート No.」がポート 1,「通信スピード」が 38400 bps です。
刺繍機側と HappyLink で、通信速度が同じになっていないと通信できません。

1. メニューバーの「ファイル」-「通信ポート設定」の順にクリックします



2. 通信ポート 設定の画面がオープンします。



3. 「シリアルポート」で、ポートを指定します。

ポート番号は、シリアルケーブルを接続した、パーソナルコンピュータのポート番号を指定してください。

注意:

ポート番号はパーソナルコンピュータのシリアルポート番号です。ポート 1 (COM1) かポート 2 (COM2) が選べます。

通常はポート 1 (COM1) に接続します。

通信ポートについては、ご使用のパーソナルコンピュータの取り扱い説明書をご覧ください。

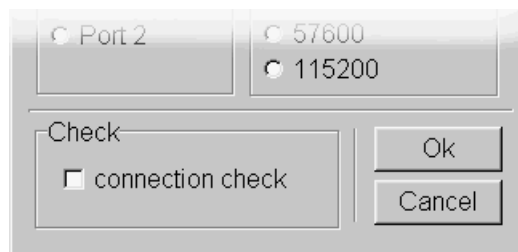
4. 「通信スピード」で通信速度 (ボーレート) を、刺繍機の通信速度に合わせます。

なお、HappyLink 対応の刺繍機は通信速度が標準で 38400bps になっています。
刺繍機側で通信速度を変更した場合は、それに合わせて値を設定して下さい。

5. 「OK」で設定画面を終了します。

注意:

HAPPY Link ソフトのバージョン A1.04 のみ、「通信ポート設定」ダイアログに「通信チェック」機能があります。

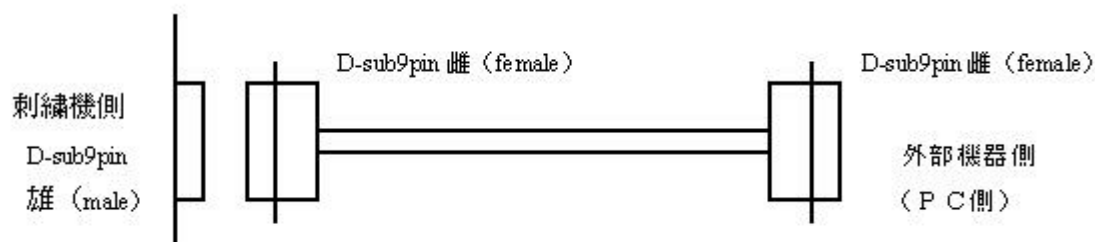


「通信チェック」で、チェックを入れると、PCと刺繍機が電氣的に接続されているかを厳密に検出します。チェックを入れることにより、通信が困難になる場合は外して下さい。(デフォルトでチェックはありません。)

ケーブルについて

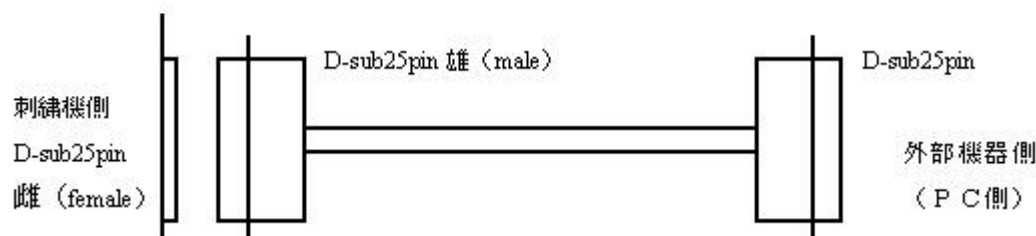
ケーブルの仕様は次の通りです。

(1) D-sub9pin - D-sub9pin の場合



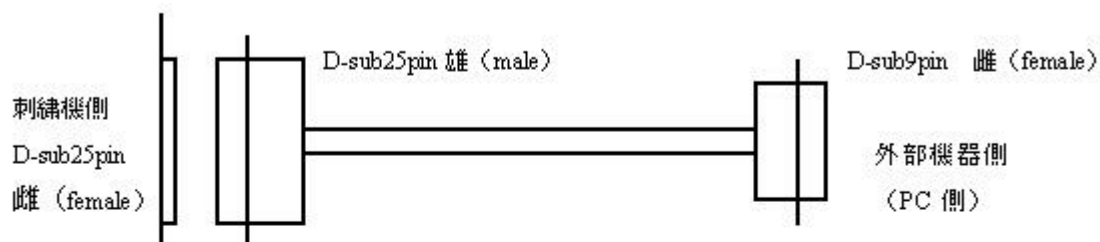
刺繍機側 D-sub 9pin			外部機器側 D-sub 9pin		
信号名		ピン番号	ピン番号	信号名	
名 称 (略号)	EIA 略号			EIA 略号	略号
Receive data (RxD)	BB	2	2	BB	R x D
Transmit data (TxD)	BA	3	3	BA	T x D
Data terminal ready (DTR)	CD	4	4	CD	D T R
Signal ground (GND)	AB	5	5	AB	G N D
Data set ready (DSR)	CC	6	6	CC	D S R
Request to send (RTS)	CA	7	7	CA	R T S
Clear to send (CTS)	CB	8	8	CB	C T S

(2) D-sub25pin - D-sub25pin の場合



刺繍機側 D-sub 25pin			外部機器側 D-sub 25pin		
信号名		ピン番号	ピン番号	信号名	
慣用略号	EIA 略号			EIA 略号	慣用略号
(T x D)	BA	2	2	BA	T x D
R x D	BB	3	3	BB	R x D
R T S	CA	4	4	CA	R T S
(C T S)	CB	5	5	CB	C T S
(D S R)	CC	6	6	CC	D S R
D T R	CD	20	20	CD	D T R
G N D	AB	7	7	AB	G N D
F G	AA	1	1	AA	F G

(3) D-sub25pin – D-sub9pin の場合



刺繍機側 D-sub 25pin			外部機器側 D-sub 9pin		
信号名		ピン番号	ピン番号	信号名	
慣用略号	EIA 略号			EIA 略号	慣用略号
(T x D)	BA	2	2	BB	R x D
R x D	BB	3	3	BA	T x D
R T S	CA	4	4	CD	D T R
(C T S)	CB	5	5	AB	G N D
(D S R)	CC	6	6	CC	D S R
D T R	CD	20	7	CA	R T S
G N D	AB	7	8	CB	C T S

長さに関しては、刺繍機との距離に合わせたものをご使用ください。ただし、長すぎると誤動作の原因となる場合があります。10メートル以内のケーブルを使用してください。

4. USBケーブル

USBケーブルはUSB2.0対応の、HI-SPEEDロゴ入りのもので、5m以内のものをご使用ください。

オプション

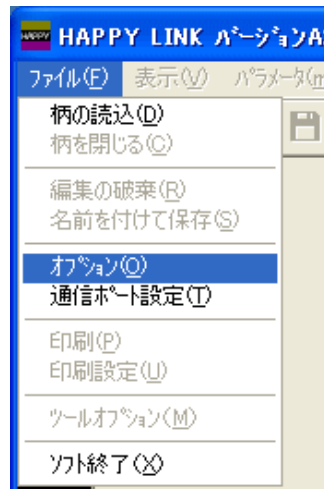
通信方式(RS232Cか USB), 刺繍機種類(対応機か否か), 刺繍機の針棒数などを設定できます.

注意:

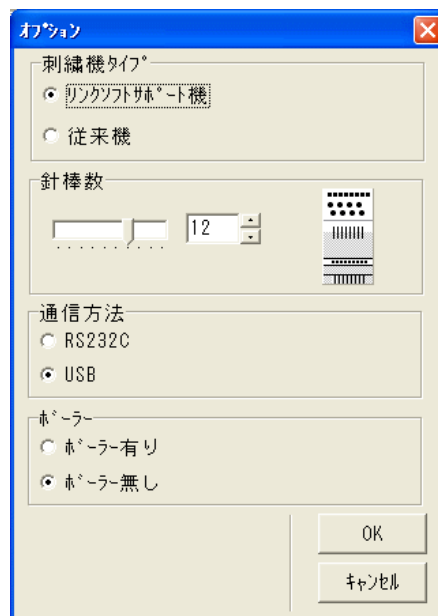
ケーブルの接続については,「 基本的知識と 操作」の「 準備」を参照して下さい.

設定方法:

1. メニューバーの「ファイル」-「オプション」の順にクリックします.



2. 「オプション」の画面がオープンします.



3. [刺繍機タイプ] で刺繍機のタイプを設定します。

- ・ HAPPYlink 対応タイプの場合は、「リンクソフトサポート機」をチェックします。この場合、操作モード機能が使用できます。
- ・ 未対応タイプの場合は、「従来機」を選んでください。この場合、操作モードへの切替ができなくなります。転送モードでご使用ください。また、生産情報、枠チェックの機能は働かなくなります。

注意:

未対応タイプでは、操作モードで操作しようとする、刺繍機側でファンクションエラーが発生します。

4. [針棒数] で、刺繍機針棒仕様を設定します。

1 頭 (ヘッド) 当たりの針棒の本数をセットしてください。

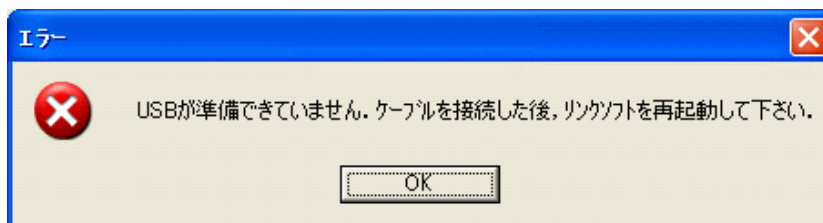
5. [通信方法] では刺繍機との通信方法を決めます。

RS232C か USB から選択します。ご使用の PC に合わせて設定してください。

注意:

USB ポートが装備されていない機種では RS232C を選んでください。

USB を接続せずに「USB」を選択すると、以下のメッセージが表示され、設定は「RS232C」に戻ります。



ケーブルの接続については、「基本的知識と操作」の「準備」を参照して下さい。

RS232C と USB の両方を接続したまま使用しないでください。どちらか一方だけを接続して使用してください。

市販の「USB—シリアル (RS232C) 変換器」は、正常に通信できない場合があります。

6. ボーラー仕様の刺繍機では、ボーラーを設定してください。

7. 「OK」で設定画面を終了します。

USB ドライバーの組み込み

USBで刺繍機と接続するには、必ずUSBドライバーのインストールが必要です。

注意:

Windows XPの環境では、ドライバ検索フォルダ指定後のインストール時に「ドライバのXPとの互換性」についての警告メッセージが出ますが、「**続行**」をクリックしてインストールを続けて下さい。

USBケーブルはUSB2.0対応の、HI-SPEEDロゴ入りのもので、5m以内のものをご使用ください。

準備:

PC側: HappyLink が起動中ならば、HappyLink を終了して下さい。PCは電源を入れたままにします。

刺繍機側:「運転モード」(刺繍機側で刺繍を開始できる状態)にします。「運転モード」については、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。

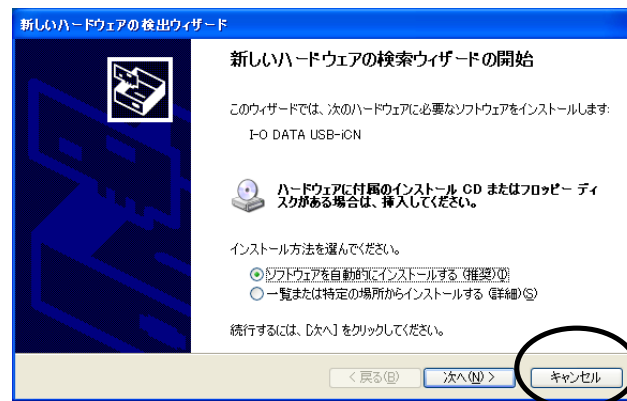
USBケーブルは、まだ接続しないで下さい。

パソコンのCDドライブに「HappyLink インストール CD」を入れます。インストールメニュー画面が自動的に表示されます。(しばらく時間がかかる場合があります。)



注意:

もし、USBケーブルを接続して、ハードウェアウィザードが起動した場合は、ハードウェアウィザードのキャンセルボタンで閉じて下さい。ハードウェアウィザードは、以下のようなものです。



Windows XP, 2000 ドライバーをインストールする場合

Windows XP, 2000 の場合は管理者権限でインストールをおこなってください。

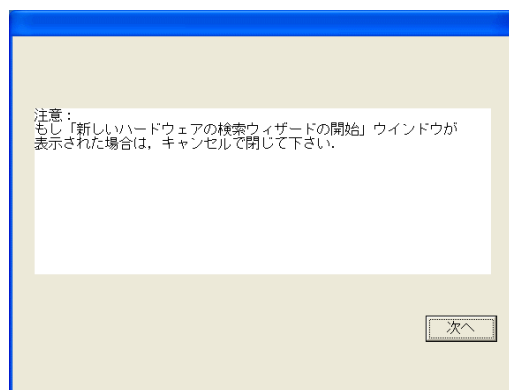
1. 「XP 2000 USB ドライバインストール」をクリックして下さい



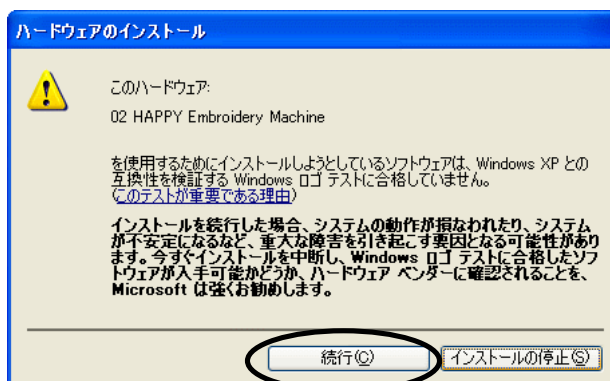
2. USBケーブルが接続されていたら外して下さい。



3. ハードウェアウィザードが起動した場合は、ハードウェアウィザードのキャンセルボタンで閉じて下さい。「次へ」をクリックして下さい。



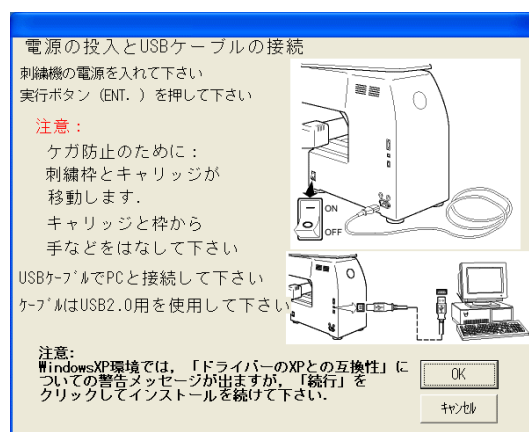
4. WindowsXP環境では、「ドライバーのXPとの互換性」についての警告メッセージが出ますが、「続行」をクリックしてインストールを続けて下さい。



注意:

「インストールの停止」をクリックした場合は、手順の最初からやりなおして下さい。

5. 刺繍機の電源を入れて、USBケーブルを差し込んで下さい



注意: 刺繍機を「運転モード」にした後、ケーブルを接続して下さい。「運転モード」については、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。

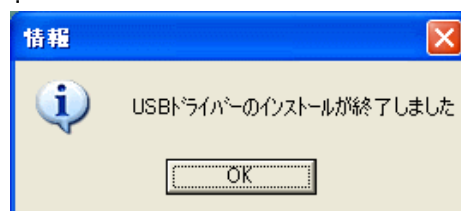
6. OKをクリックして下さい。

7. WindowsXP環境では、「ドライバーのXPとの互換性」についての警告メッセージが出ますが、「**続行**」をクリックしてインストールを続けて下さい。

注意:「インストールの停止」をクリックした場合は、手順の最初からやりなおして下さい。

8. インストールが終了すると、終了ダイアログボックスが表示されます。

注意: WindowsXP, 2000 では、ドライバインストール後、別のUSBポートに接続した場合、ハードウェアウィザードが起動することがあります。一旦このウィザードを「キャンセル」をクリックして閉じた後、手順の最初からやりなおして下さい。

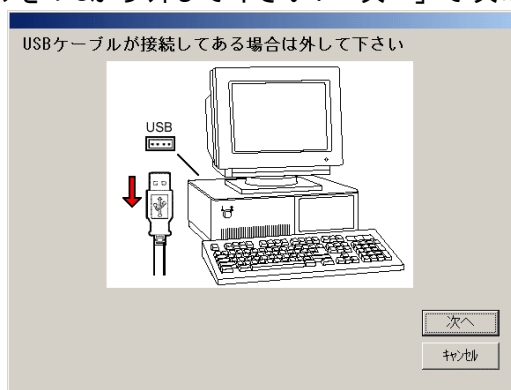


Windows 98, 98SE, Me ドライバーをインストールする場合

1. 「98 98SE Me USB ドライバーインストール」をクリックして下さい



2. USBケーブルをPCから外して下さい。「次へ」で次の画面に移行します。

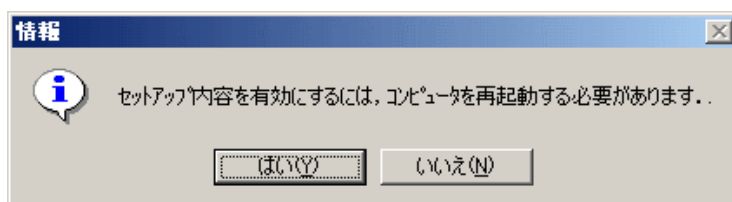


注意: ハードウェアウィザードが起動した場合は、ハードウェアウィザードのキャンセルボタンで閉じて下さい。

3. インストールが終了すると、終了ダイアログが表示されます。OKをクリックして下さい。



4. インストールしたドライバーを有効にするにはPCを再起動して下さい。



5. ケーブルを接続して下さい。

使ってみましょう

(例) サンプル柄 (flower1.tap) を刺繍機で縫います。

柄のインストール先は、c:\program files\Happy\HappyLink\pattern です。

刺繍機の接続を確認して下さい。刺繍機を先に立ち上げて下さい。

なお、USBの場合は、USBドライバーのインストールが済んでいることが必要です。

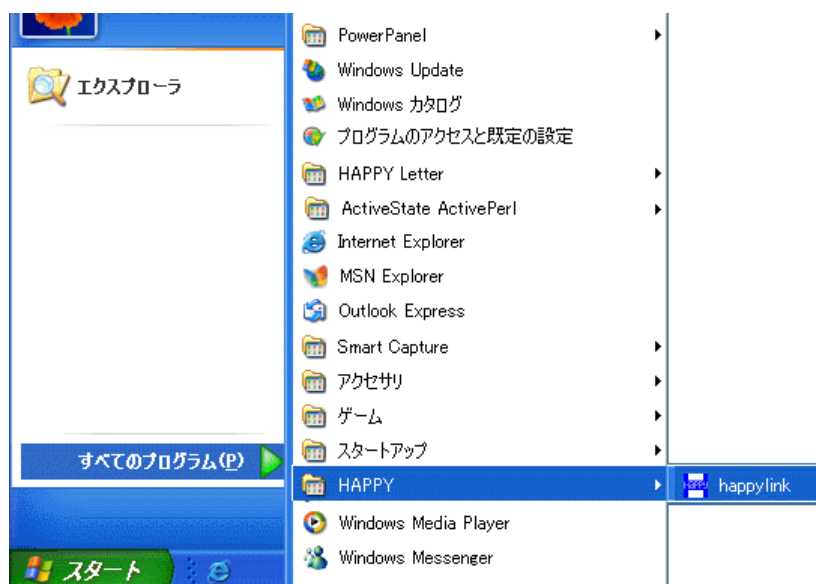
前準備:

刺繍機側では、布と枠を準備し、刺繍できる状態にしておきます。また、枠の中心に針落ち点を合わせておいて下さい。また、刺繍機側を「運転モード」(刺繍機側で刺繍を開始できる状態)にしておきます。(準備については、刺繍機マニュアルをご覧ください。)


手順: ソフト起動 → 柄読み込み → 送信 → 刺繍する

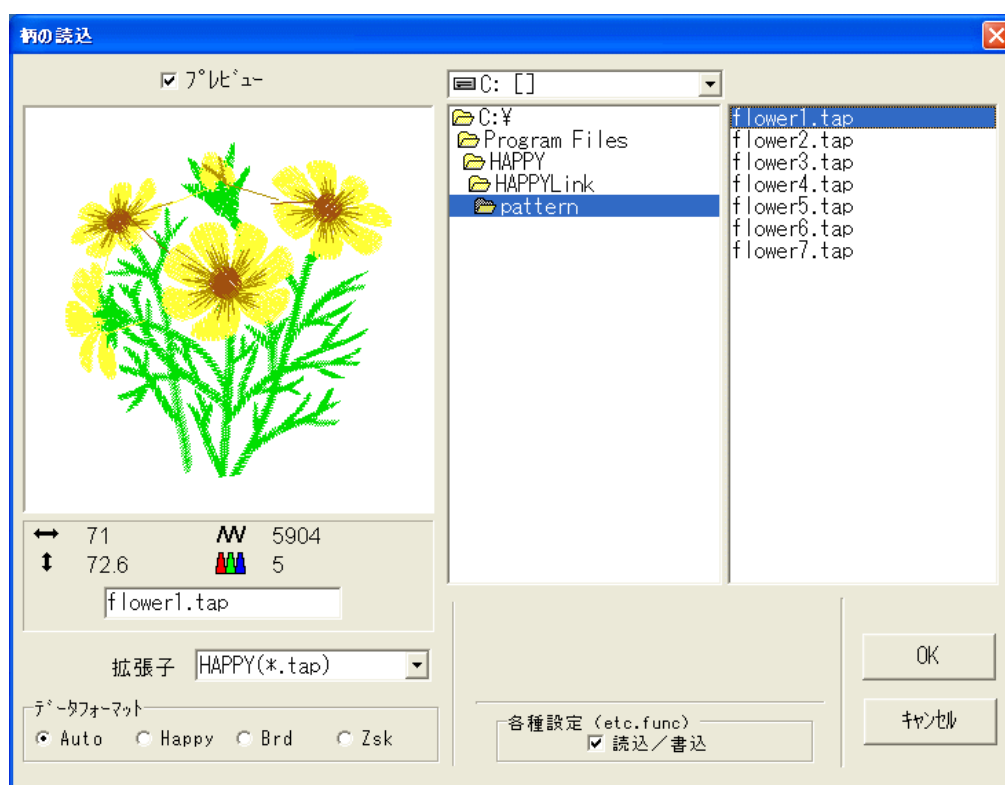
1. ソフトを起動します。

下図のように Windows の画面左下の[スタート]—[プログラム]—[HAPPY]—[happylink]を選択します。




2. 柄を選ぶ.

柄読み込みボタン  をクリックし、下図のように、オープンダイアログを開きます。



Cドライブを選択し、「Pattern」フォルダをダブルクリックします。最後に柄 (flower1.tap) を選択し、「OK」をクリックします。

3. 柄を転送する.

柄転送ボタン  をクリックすると、刺繍機へ柄データを転送します。



転送始めに、刺繍機で、ピッと音がします。転送が終わると、ピッと音がします。

メッセージ「完了しました。」がPCに表示されたら、「OK」をクリックします。(「刺繍機への柄転送」を参照して下さい。)

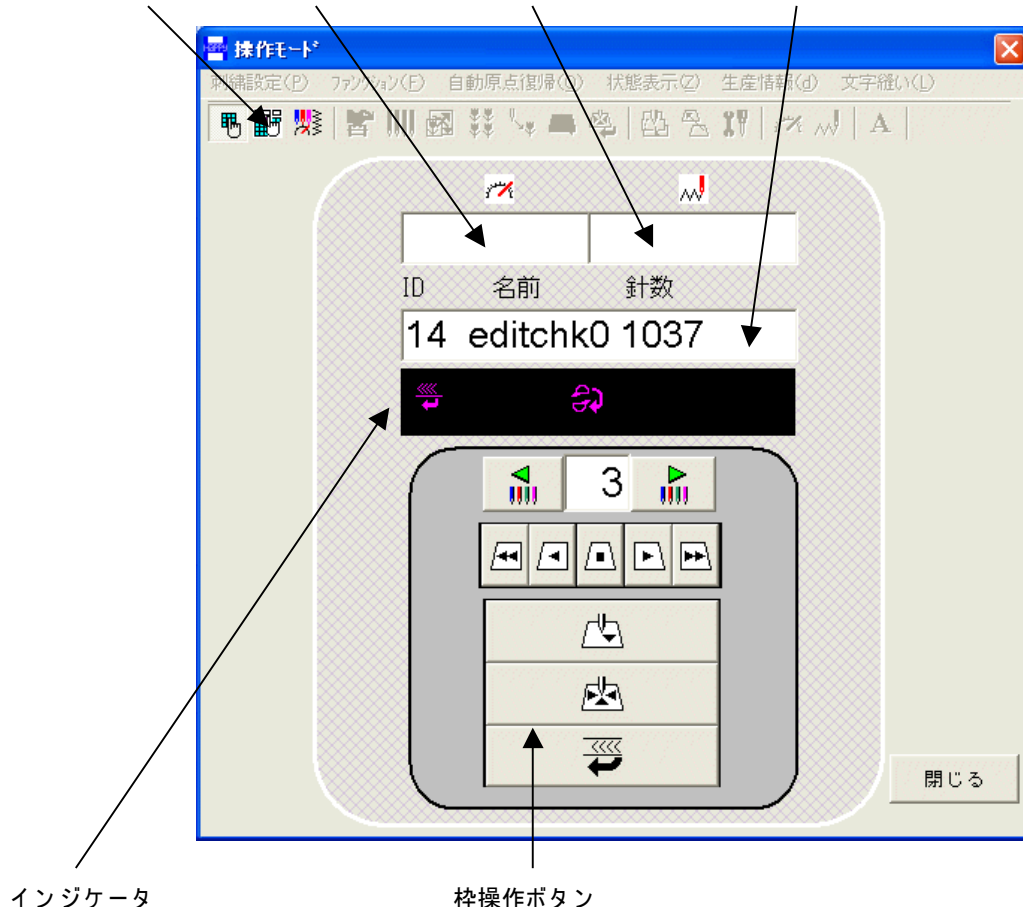
4. 刺繍する.

刺繍機側でスタートボタンを押すと、一旦柄の大きさを確認するために、柄の輪郭通りに枠が動きます。(針棒[布押さえ]が枠をたたくことがないか、十分確かめてください。)再度スタートボタンを押すと、刺繍を開始します。

操作モード

転送モードで、 操作モード起動ボタンをクリックしますと操作モードに変わります。この時、 (枠操作切り替え) ボタンが押されています。このモードでの針棒選択等の設定は、転送モードでオープンした柄に対してではなく、刺繍機で縫おうとしている柄に対して設定されます。

状態を切り替える 回転数 現在のステッチ数 現在の柄の ID 柄名 針数



注意: 機種により、枠操作ボタン、文字縫い、スピード表示などは使用できない場合があります。

刺繍機側に柄が無い場合は、2つのメッセージ「柄がありません。」と「データが得られませんでした。再試行して下さい。」が表示されます。また、操作モードは起動されません。転送モードで柄を送信してから、再度行って下さい。

なお、刺繍機を再起動した場合は、Linkソフトも再起動して下さい。

表示部

刺繍機で現在選択している柄の ID 番号、名前、総ステッチ数、インジケータを表示します。



インジケータ

選択柄の状態を示します。左から「トップ」、「帽子枠」、「帽子柄反転」です。




「トップ」: 柄がトップに状態にあると点灯します。

「帽子枠」: 帽子枠が使用されていると点灯します。W de 帽子枠を選択している場合のみ「W」のマークが付きます。

「帽子柄反転」

帽子柄反転(Convert Cap)がチェックされていると、点灯します。

このモードでは、パソコンで刺繍機を操作します。操作は全て、マウスの左ボタンでおこないます。また、以下の3つの状態があります。

1.  枠操作ボタンが押されている状態
枠や針棒切替などの操作
2.  刺繍設定操作ボタンが押されている状態
柄選択や針棒選択などの操作
3.  回転スピードや現在針数表示ボタンが押されている状態
刺繍運転時のステッチ数や回転数表示

1. 枠操作ボタンが選択されている状態

パソコン上から針棒切替、前進などの、刺繍機操作ができます(機種により、使用できない場合があります)。

ボタンの説明



針棒切替

使用する針を選ぶことができます。
キーの矢印の方向に移動ヘッドが一回移動し、針棒が切り替わります。
現在使用している針棒を表示します。



前進(10針)

刺繍せずに、刺繍模様に沿って枠の動きを連続して進ませることができます。
クリックすると、柄の10針づつ、刺繍模様に沿って枠が移動します。刺繍はされません。
停止させるには、停止ボタンをクリックしてください。



前進(1針)

1針だけ枠が前進します。刺繍はされません。停止させるには、停止ボタンをクリックしてください。



停止

前進、後退を停止します。



後退(1針)

1針だけ枠が後退します。刺繍はされません。停止させるには、停止ボタンをクリックしてください。



後退(10針)

10針づつ枠が後退します。柄の先頭に戻ったところで停止します。停止させるには、停止ボタンをクリックしてください。

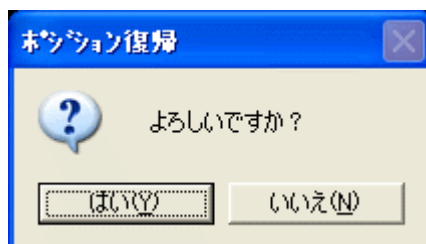
ポジション復帰

枠の位置を元の状態に戻すことができます。

刺繍を途中で停止させた後、枠を枠移動キーで動かした場合、このキーをクリックすると、動かす前の位置に戻ります。

注意:

クリックすると、以下のメッセージが表示されます。



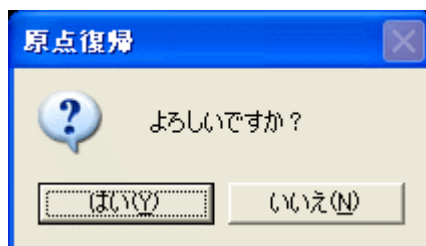
「はい」を選択すると、枠が移動します。注意してください。

原点復帰

枠を刺繍開始位置に戻します。枠が原点に戻り、縫い始める位置がメモリー柄の先頭に戻ります。もう一度クリックすると、前の位置に戻ります。

注意:

クリックすると、以下のメッセージが表示されます。



「はい」を選択すると、枠が移動します。注意してください。

トップ

刺繍のデータだけを、柄の先頭に戻します。

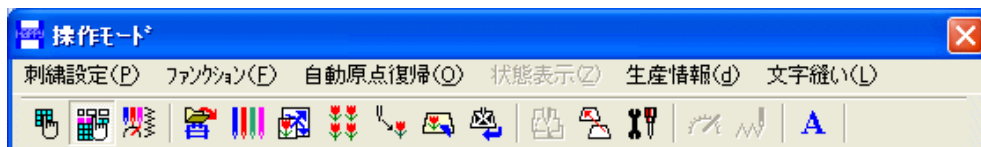
停止中にこのキーをクリックすると、柄データは先頭に戻ります。刺繍機のトップマークが点灯します。

さらにクリックすると、柄データは元の位置に戻り、刺繍機側のトップマークは消えます。トップ状態で刺繍を開始すると、その枠位置に、柄の先頭から刺繍が再開されます。

ツールボタンの説明

2. 刺繍設定操作ボタンを押した状態

ツールボタンは下図のようになります。ツールボタンが使用可能になります。



各ボタンをクリックすることで入力画面が表示されます。



枠操作 (機種により、使用できない場合があります)

枠操作 (Frame move)、針棒切替 (Needle move)、フレームフォワード・バックなどを操作可能にするボタン



刺繍設定操作

柄管理、針棒選択、拡大縮小、繰り返しなどを操作できるようにするボタン



スピード・現在針数表示 (機種により、使用できない場合があります)

回転スピード・現在の針数を表示可能にするボタン



柄管理

刺繍機に記憶した柄の選択・消去・リネームを行います



針棒選択

刺繍時に使用する、針棒の順番を設定します。多色刺繍が可能になります。



柄調整

拡大縮小・回転・振り幅調整・座標変換の設定をします。



繰り返し

同じ柄を、指定した個数だけ繰り返して縫うための設定をします



オフセット

枠が、オフセット指定した位置から、柄の始点に移動して刺繍を開始します



フレームアウト

柄の、指定した色を縫い終えた後、枠を自動的に指定したフレームアウト位置に移動してから停止させます



自動原点復帰

刺繍完了後、枠が刺繍開始位置に自動的に戻ります



枠位置登録(機種により、使用できない場合があります)

刺繍機電源がオフのときに、枠位置を変えてしまった場合に、あるいは刺繍中に停電等で機械が停止してしまった場合に、電源投入後に元の位置に復帰できる機能(刺繍機側にこの機能がない場合は、淡色表示になっていて、使用できません。)



ダイレクト枠位置指定

柄の針数や色替え番号、繰り返し個数の何個目かを指定して、その位置に枠を移動させる機能(「繰り返し個数」による指定はありません。)



刺繍設定

刺繍機の基本機能の設定をおこないます。



回転スピード表示(機種により、使用できない場合があります)



スピード・現在針数表示ボタンを押している場合に、刺繍回転スピード(r.p.m)を表示します。



現在針数(機種により、使用できない場合があります)



スピード・現在針数表示ボタンを押している場合に、現在縫っている針数を表示します。



文字縫い(機種により、使用できない場合があります)

刺繍機に内蔵された文字を選んで刺繍します

各機能の使用法（操作モード）



柄管理

柄管理ボタンをクリックすると、柄管理ダイアログを表示します。現在刺繍機で選択されている柄が一番上の部分に太字で表示されます。



刺繍機に保存されている刺繍柄一覧を表示します。
次の機能があります。

柄選択

刺繍する柄を選びます。ID番号をクリックして選んでから、「柄の選択」ボタンをクリックすると選択されます。

削除

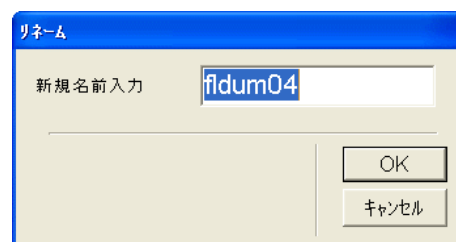
不要になった柄を削除します。ID番号をクリックして選んでから、「削除」ボタンをクリックすると削除されます。

注意: クリックすると、「よろしいですか？」のメッセージが表示されます。[はい]を選択すると削除します。

名前の変更

柄の名前を変更します。ID番号をクリックして選んでから、リネームボタンをクリックすると、新柄名の入力フォームが表示されます。キーボードから入力してください。8文字まで入力可能です。入力後、OKボタンをクリックします。

新柄名入力（リネーム入力フォーム）





針棒選択

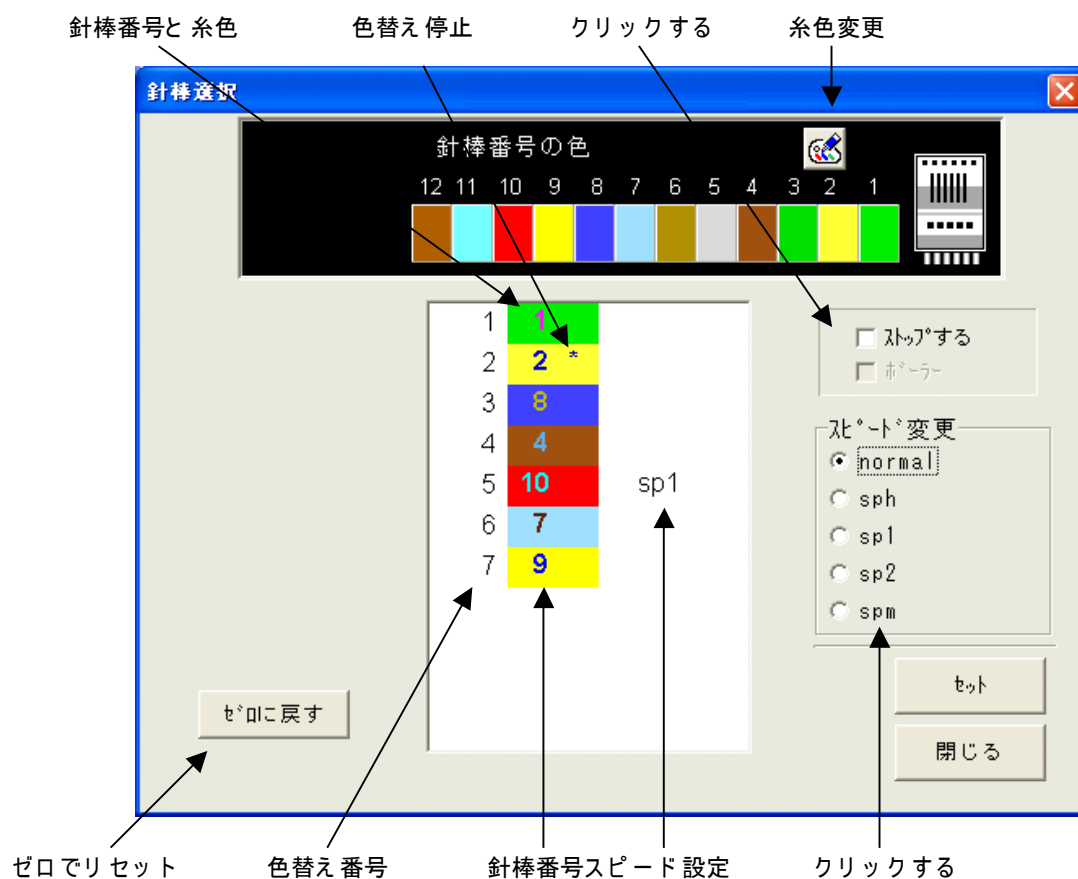
刺繍する際に使う針棒の順番を指定しておくことができます。

- ・ 柄の各色替えに、針棒の番号を設定します。
- ・ 色替え時に停止（ストップ）させる、色替え停止をセットすることもできます。

但し、色替え停止セット後、その針棒番号を変えると、色替え停止などもクリアになります。再度、色替え停止をセットして下さい。

- ・ 色替えごとに、刺繍スピードを設定できます。

針棒選択ボタンをクリックすると、針棒選択のダイアログが現れます。



設定方法:

1. 希望する色替え番号を選んでクリックします。
2. 針棒番号とカラーから、希望するカラーを選んでクリックします。
これを、色替え番号毎に繰り返します。
必要があれば、色替え停止やホーラー（対応している機種のみ）をチェックします。
3. 入力が終わったら、[セット] をクリックします。

ストップ

針棒番号をセットした後でこれをチェックすると、針番の右に「＊」マークが表示され色替え停止がセットされます。刺繍が進行し、この色替えにくると、刺繍機は一端停止します。刺繍再開は、刺繍機側のスタートボタンを押してください。

ボーラー

チェックすると「B」が表示され、この色替えに来た場合は、ボーラー設定になります。ただし、刺繍機がボーラー仕様であることが必要です。「オプション」を参照して下さい。

スピード変更

色替えごとに刺繍スピードを設定することができます。チェックすると、設定したスピード値を表示します。

Normal

通常のスピード

sph

スピード制限の解除

sp1

スピード制限を約700rpm(機種により異なる)にします

sp2

スピード制限を約600rpm(機種により異なる)にします

spm

スピード制限を約300rpm(機種により異なる)にします

ゼロリセットボタン

入力した針棒番号が、全てゼロになります。その他に設定した内容(ストップ等)も全てクリアになります。

セットボタン

入力された内容が、刺繍機にセットされます。


クローズ

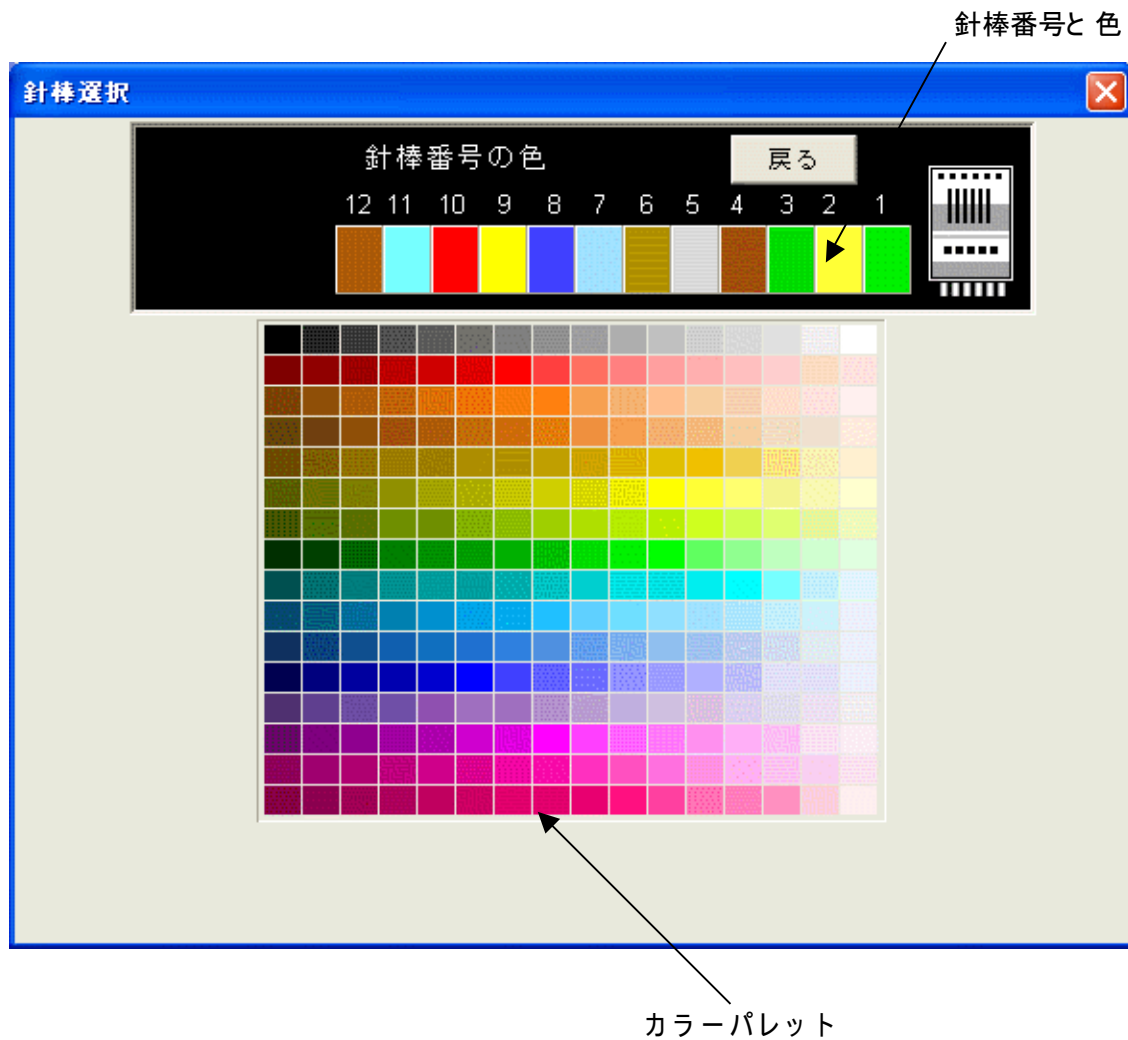
刺繍機にはセットしないで、画面を終了します。

糸色変更ボタン

糸色を変更する画面に変わります。刺繍機の糸の色と合わせたい場合に變更してください。

糸色変更方法

1. 糸色変更ボタンをクリックし、糸色変更画面にします。
2. 変更したい針棒番号の色をクリックして選択します。
3. カラーパレットの中の、希望する色をクリックします。針棒番号の色が変更されます。
4. この画面を終了するには、[戻る] をクリックします。





柄調整

拡大縮小・回転・振り幅変換・座標変換を設定します。柄調整ボタンをクリックすると、入力画面がオープンします。

入力は、次のどの方法でも可能です。

1. スクロールバーのツマミをマウスでドラッグする
2. 数値ボックスに数値をキーボードで入力する
3. アップダウンをマウスでクリックする。

座標変換は、チェックボタンをマウスでクリックしてください。

入力が終了したら「セット」をクリックすると刺繍機にセットされます。

※振幅調節を設定して刺繍すると、終点に誤差を生じる場合があります。このようなときは、振幅調節の設定値を”0.0”に戻して下さい。

柄調整ダイアログの機能と入力範囲は以下の通りです。

拡大縮小

柄を縦横それぞれ 1%ステップで拡大縮小します。

- ・横 (X) 方向の拡大縮小 (Scale X) 50~200% 標準 100%
- ・縦 (Y) 方向の拡大縮小 (Scale Y) 50~200% 標準 100%

回転

柄の始点を軸にして、1°ステップで時計方向に角度を変えます。

- ・回転 (Angle) -359~+359° 標準 0°

振り幅変換

柄の縫い目の振幅 (L) を、-1.0~+1.0mmの範囲で 0.1mmステップおきに調節します。

- ・振幅調節 (Width) -1.0~+1.0mm

座標変換

柄の始点を軸にして 90°ステップで角度を変え、ミラー反転を行います。

- ・座標変換 “P” を基準に 8 パターン設定できます。



繰り返し

同じ柄を、縦横それぞれに指定した個数だけ、自動的に繰り返して縫うことができます。繰り返しボタンをクリックすると、入力画面がオープンします。

繰り返す個数、間隔、優先方向を設定します。

入力は、次のどの方法でも可能です。

1. スクロールバーのツマミをマウスでドラッグする
2. 数値ボックスに数値をキーボードで入力する
3. アップダウンをマウスでクリックする、

入力が終了したら「セット」をクリックすると刺繍機にセットされます。

機能と入力範囲

個数

繰り返すを行う時の、横（X）方向、縦（Y）方向の個数を設定します。刺繍される個数は横と縦の個数をかけた数になります。

- ・ 横の個数（X） 1～30
- ・ 縦の個数（Y） 1～30

間隔

繰り返すを行う時の、各柄の始点間の寸法を設定します。横の間隔（X）で、プラスの数値を入力すると右に、マイナスの数値を入力すると左の方向に繰り返すを行います。縦の間隔（Space Y）で、プラスの数値を入力すると上に、マイナスの数値を入力すると下の方向に繰り返すを行います。

- ・ 横の間隔（X） -999.9～999.9mm
- ・ 縦の間隔（Y） -999.9～999.9mm

優先方向

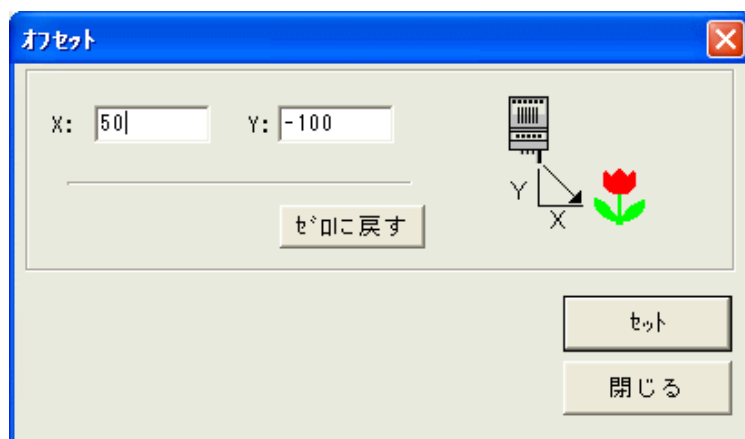
横と縦の個数を2以上に設定したときに、2個目を刺繍する方向を設定します。

- ・ 横（X）：横方向の個数を縫ってから縦方向の個数を縫います
- ・ 縦（Y）：縦方向の個数を縫ってから横方向の個数を縫います



オフセット

枠が、オフセット指定した位置から、柄の始点に移動してから刺繍を開始します。オフセットボタンをクリックすると、入力画面がオープンします。

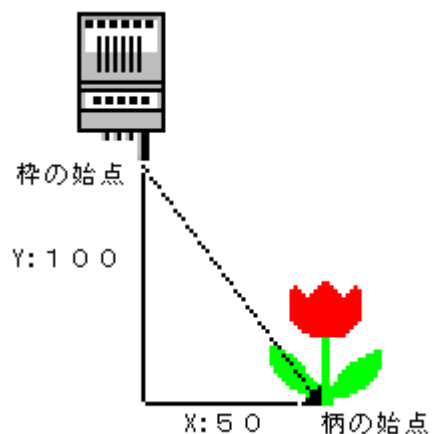


キーボードから数値を入力してください。

枠の始点を基準点にして、柄の始点までの移動量を設定します。

オフセット設定方法

例)

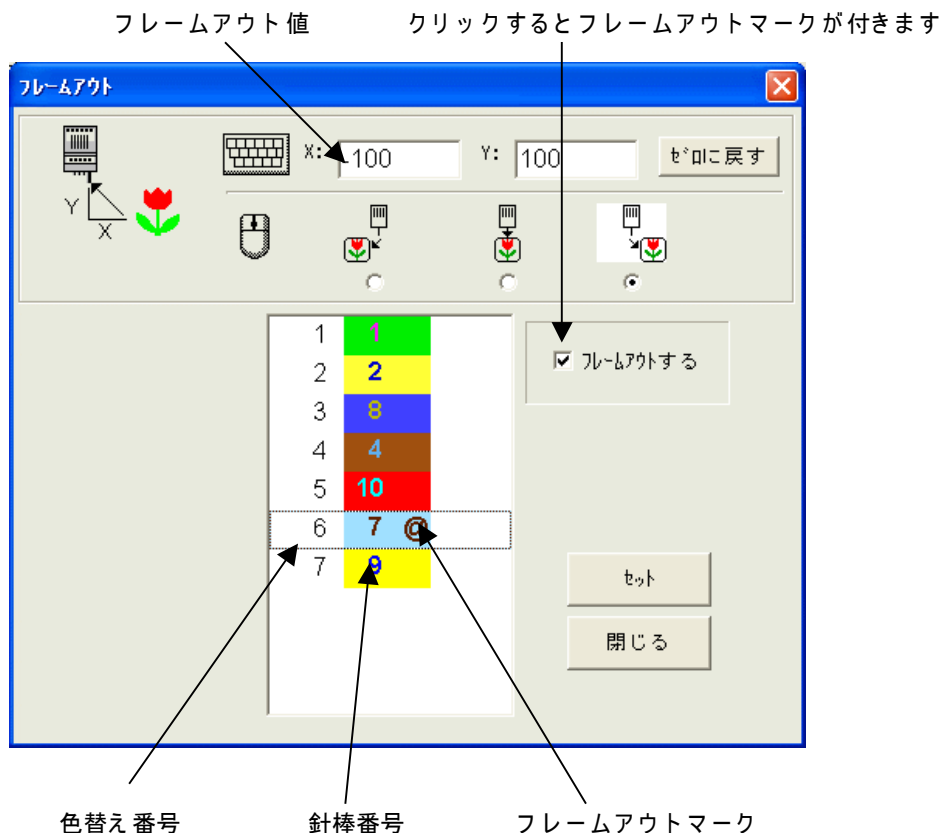


1. X: 50, Y: -100を入力します。
2. 入力終了したら「Set」をクリックすると刺繍機にセットされます。



フレームアウト

柄の、指定した色を縫い終えた後、枠を自動的にフレームアウト位置に移動してから停止させます。運転を再開すると、正常な位置に戻ってから刺繍を続けます。フレームアウトボタンをクリックすると、入力画面がオープンします。

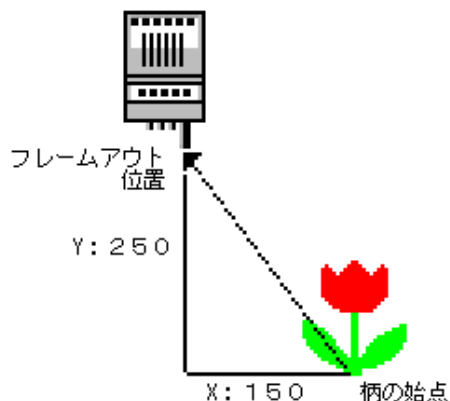


フレームアウト位置をキーボードで数値入力し、次にフレームアウトさせたい色替え番号をクリックしてください。さらに「フレームアウトする」をクリックします。設定された箇所は針棒番号の右側に@が表示されます。

柄の始点を基準点にして、フレームアウト位置までの移動量を設定します。

フレームアウト 設定方法

例1)



1. X: -150 Y: 250 数値を入力する。
2. フレームアウトさせたい色替え番号をクリックする。
3. 「フレームアウトする」をクリックする。設定されると、針棒番号に@が付きます。
4. 「セット」をクリックすると刺繍機にセットされます。

例2. 入力の簡単設定)

注意: 設定後, 例1 の項2 ~4 を行う 必要があります.



チェックボタンをチェックすると, 決まった値が設定されます.

に表示されます.



フレームアウト時に枠が手前左側に出てきます. X: 1 0 0, Y: 1 0 0 が設定されます.



フレームアウト時に枠が手前に出てきます. X: 0, Y: 1 0 0 が設定されます.



フレームアウト時に枠が手前右側に出てきます. X: -1 0 0, Y: 1 0 0 が設定されます.

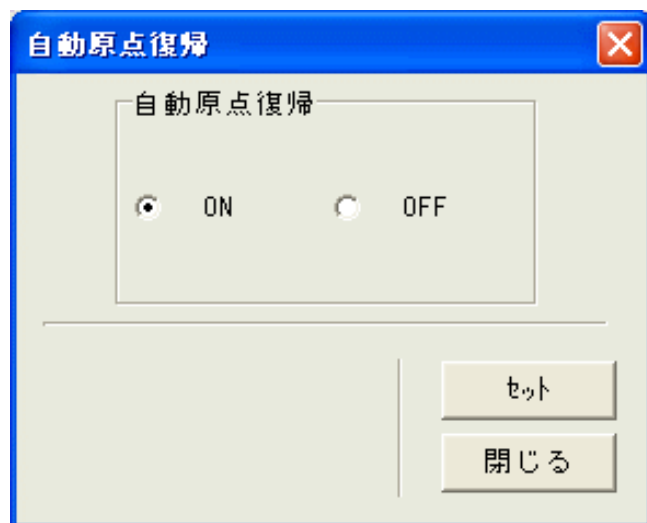


自動原点復帰

自動原点復帰をセットすると, 刺繍が終了した後, 枠が自動で刺繍模様の原点に戻ります.
自動原点復帰ボタンをクリックすると, 入力画面がオープンします.

注意:

オフセットを設定していると, オフセット位置に戻ります.



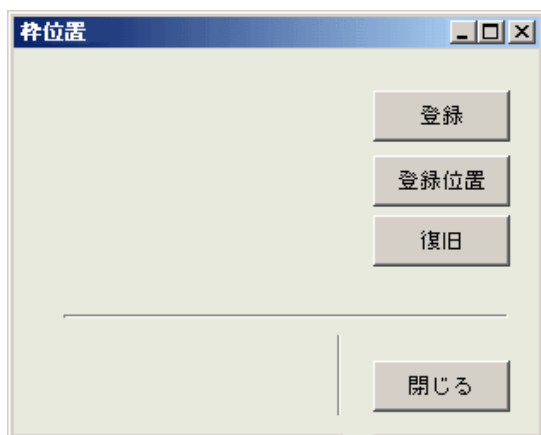
必要な場合は, ONにチェックしてください.
「セット」をクリックすると刺繍機にセットされます.



枠位置

注意：機種により，使用できない場合があります．

刺繍機電源がオフのときに，枠位置を変えてしまった場合に，あるいは刺繍中に停電等で機械が停止してしまった場合に，電源投入後に元の位置に復帰できる機能です．枠位置ボタンをクリックすると，設定画面が表示されます．



柄毎に，枠位置を登録してください．

注意：帽子枠では，故障の原因となる場合があります．この機能を使用しないで下さい．

登録

現在の柄の原点を登録する機能です．

1. 刺繍機側の準備：登録をおこなう前に，刺繍機側で原点の位置を決めます．
1，原点復帰で枠を原点に戻します．
2，シフトキーを押しながら数値のゼロ・キーを押します．（原点位置が決定されます．）
2. 「登録」をクリックします．（メッセージ：「注意！枠が動きます」が現れますので「OK」ボタンをクリックします．）
3. 刺繍機側の安全を確認してから運転パネルの開始ボタン（機種により SET ボタン）を押します．（枠が右手前まで移動し再び元の位置に戻り登録が完了します．）

登録位置

枠の位置が停電等のトラブルで変わった時に，枠を登録しておいた原点（登録位置）に戻す機能です．

1. 刺繍機側の準備：刺繍機側の電源を入れる前に主軸が C ポイントになっているか確認し，刺繍機の電源を入れ，糸切りボタンを押して糸切りしておきます．
2. 「登録位置」をクリックします．（メッセージ：「注意！枠が動きます」が現れますので「OK」ボタンをクリックします．）
3. 刺繍機側の安全を確認してから運転パネルの開始ボタン（機種により SET ボタン）を押します．（枠が右手前に移動してからスタート点（登録位置）に戻ります．）

復旧

枠の位置が停電等のトラブルで変わった時に，直前の状態に戻す機能です．

1. 刺繍機側の準備：刺繍機側の電源を入れる前に主軸が C ポイントになっているか確認し，刺繍機の電源を入れ，糸切りボタンを押して糸切りしておきます．
2. 「復旧」をクリックします．（メッセージ：「注意！枠が動きます」が現れますので「OK」ボタンをクリックします．）
3. 刺繍機側の安全を確認してから運転パネルの開始ボタン（機種により SET ボタン）を押します．（枠が右手前に移動してから元の位置（復旧）に戻ります．）



枠位置指定

柄の針数や色替え番号の位置に枠を移動させる機能です。
枠位置指定ボタンをクリックすると、設定ダイアログが表示されます。

方法は「方法 1」か「方法2」のボタンで選んでください。

方法1 . 枠を移動したい「ステッチ」を指定し、枠を移動させる。

方法2 . 「色替え」を指定し、枠を移動させる。

いずれの場合も、数値はキーボードから入力します。入力後は、実行ボタンをクリックします。
「注意. 枠が移動します。」のメッセージが表示されます。「OK」をクリックすると枠が移動するので、注意してください。

注意:

「繰り返し回数」による指定はありません。



基本機能

刺繍機の基本機能の設定を行います。基本機能ボタンをクリックすると、基本機能設定ダイアログが表示されます。刺繍機には、これ以外にも設定できる項目があります。刺繍機の取り扱い説明書をご覧ください。

基本機能設定(Create)

- ☐ 1. 色替え空ステッチを残す
- ☐ 2. 空ステッチを読み飛ばす
- ☐ 3. ジャンプの最適化
- ☒ 4. 糸切れ自動バック
- 5. 振幅制限値
..... 13 セット
- ☒ 6. 帽子柄反転
- ☐ 7. 低速回転少ない
- ☒ 8. 自動糸切り
- 9. 糸切りするジャンプ数
..... 3 セット
- ☐ 10. 空ジャンプ糸切り
- ☐ 11. 色替え全て糸切り
- ☐ 12. ステッチスリーブ
- 13. スリーブする長さ
..... 0.4 セット
- ☐ 14. 長めに糸切りする
- ☐ 15. 留縫い長い
- 16. データフォーマット
☒ 自動判別
☐ Taj / Hpy
☐ Brd
☐ Zsk
- 17. トレース作成モード
☒ 柄の輪郭 ☐ 柄の範囲
- ☒ 18. 縫い開始時留め縫入れる
- 19. 振幅一括変換
..... 0 セット
- ☐ 20. トレースする
- ☐ 21. トレースデータ作成する
- ☐ 22. ワイト帽子枠モード
- ☐ 23. 全頭補修縫いする
- ☐ 24. 補修解除低速

デフォルトセット

閉じる

設定は項目をクリックしてください。数値入力はスライドバーか数値入力ボックス、アップダウンボタンでおこなってください。画面を終了するには「閉じる」をクリックしてください。全ての項目を標準状態にするには、「デフォルトセット(標準値セット)」をクリックしてください。

1. 色替え・空ステッチを残す

柄データを読み込む時、色替え前の空ステッチをそのまま読み込む

2. 空ステッチを読み飛ばす

柄データを読み込む時、色替え前の空ステッチ以外の空ステッチを除いて読み込む

3. ジャンプの最適化

柄データを読み込む時、複数の連続したジャンプが有る場合、最大12.7mmまでのまとまったジャンプに変換して読み込む

4. 糸切れ自動バック

糸切れが生じた時、その位置から枠と柄データを数針バックして停止させる。

5. 振幅制限値

柄データの振幅がこの長さを越えるとジャンプで分割して刺繍します。

6. 帽子柄反転

刺繍機に帽子駆動枠が取り付けられると、柄の向きを帽子に合わせて自動的に反転させて刺繍します。（対応機種のみ使用可）

7. 低速回転少ない

糸切り後のスロースタートを3針までとする。それ以外は5針までスロー。

8. 自動糸切りさせる

色替え停止などの後に自動で糸切りを行う。

9. 糸切りするジャンプ数

空ジャンプ糸切りが動作する空ジャンプ数を設定する。

10. 空ジャンプ糸切り

柄データの中に空ジャンプ1針に続く1針以上のジャンプがある場合、空ジャンプの前で糸切りを行う。

11. 色替え全て糸切り

柄データ中で、ジャンプ直後に色替え、または停止になっている場合、柄データで指示している、色替えの動作を優先して針を落とし糸切りを行う。色替えが同じ針棒に設定されていても糸切りを行います。

12. ステッチスイープ

柄データを読み込む時、糸切れの原因になる振り幅が極端に短いステッチを取り除く

13. スイープ長さ

ステッチスイープをおこなう振り幅の値。この長さ以下のデータは取り除かれる

14. 糸切り長めにする

糸切りの際の、上糸の長さを長めに切る。

15. 止め縫い長い

止め縫いの長さを長めにする。

16. データフォーマット

柄データを読み込む時のデータフォーマットを指定します

通常はAutoにしておき、読み込んでも柄が形成されなかった場合には、指定を変更して、再度読み込んでください。

Auto : 自動判別（通常は自動に設定してください）

Taj / Happy: Tajima Happy3 進法

Br d : Brdの2進法

Zsk : Zskの2進法

17. トレース作成モード

トレースの方式を指定します。

輪郭: 柄の輪郭に沿ってトレースします

範囲: 柄の最大範囲の矩形に沿ってトレースします

18. 縫い開始時、止め縫いする

運転開始時に自動で止め縫いを入れる。

19. 振り幅一括変換

刺繍機に記憶されている全ての柄に対し振り幅調整をおこないます。Adjust の振り幅調整よりも優先されます。

20. トレース

柄の輪郭や最大範囲にしたがって、枠を移動し、実際に縫われる柄の大きさと位置確認をおこなうことができます。トレースするには、トレースデータ作成をオンにしておく必要があります。（対応機種のみ使用可）

21. トレースデータ作成

柄データを読み込む時、トレースデータを作成します。トレースさせたい場合は、これをオンにしておく必要があります。（対応機種のみ使用可）

22. ワイド帽子枠モード

HCS1201ではHAPPYLinkバージョンA2.**から対応しています。それ以前のバージョン(A1.04まで)では対応していません。

ワイド帽子枠を使用するのに適した刺繍制御を行います。刺繍機側でのみ選択でき、ここではその状態を表示します。（モードを変更した場合、刺繍機を再起動した後、HappyLinkソフトを再起動して下さい。）

チェック Off - 標準帽子枠

チェック On - ワイド帽子枠（刺繍範囲 HCS1201 X: 290 × Y: 70 mm）

23. 全頭補修縫いする

補修縫いを糸切れの有無に関係なく全てのヘッドで行う。（対応機種のみ使用可）

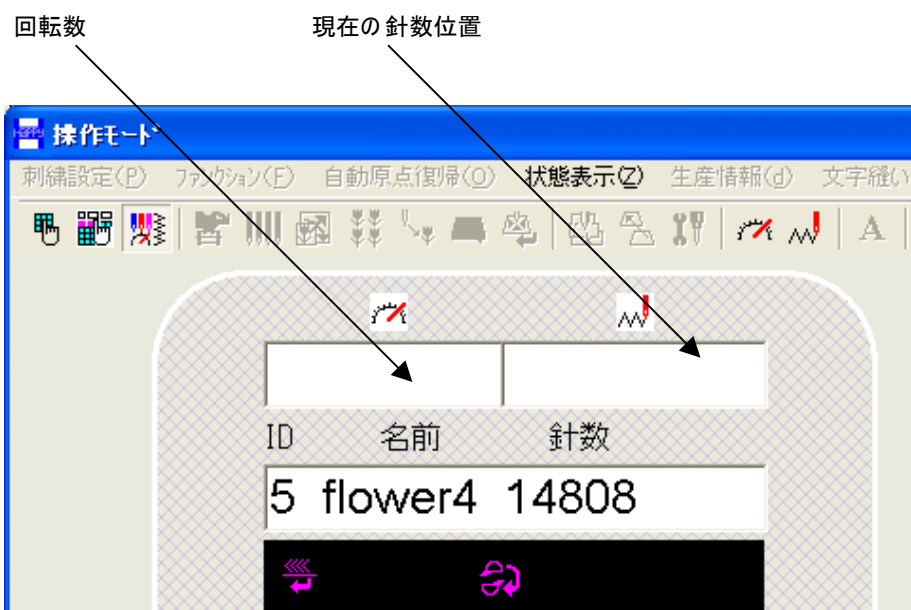
24. 補修解除低速

補修縫いが終わり、すぐに補修縫い以外のヘッドが一斉に縫いを再開する時に、安全のため減速する。（対応機種のみ使用可）

3. 回転スピード・ 現在針数表示ボタンを押している状態

(機種により、使用できない場合があります)

ツールボタンは下図のようになります。



回転スピード表示

このボタンを押すと、刺繍機の主軸の回転スピード (r.p.m) を表示します。この時、等間隔で BEEP 音が鳴ります。



現在針数

このボタンを押すと、現在縫っている位置の針数を表示します。この時、等間隔で BEEP 音が鳴ります。(前進や後退した場合も表示します。)

これらの機能を解除するには、クローズボタンか、枠操作ボタンか、刺繍設定操作ボタンをクリックします。

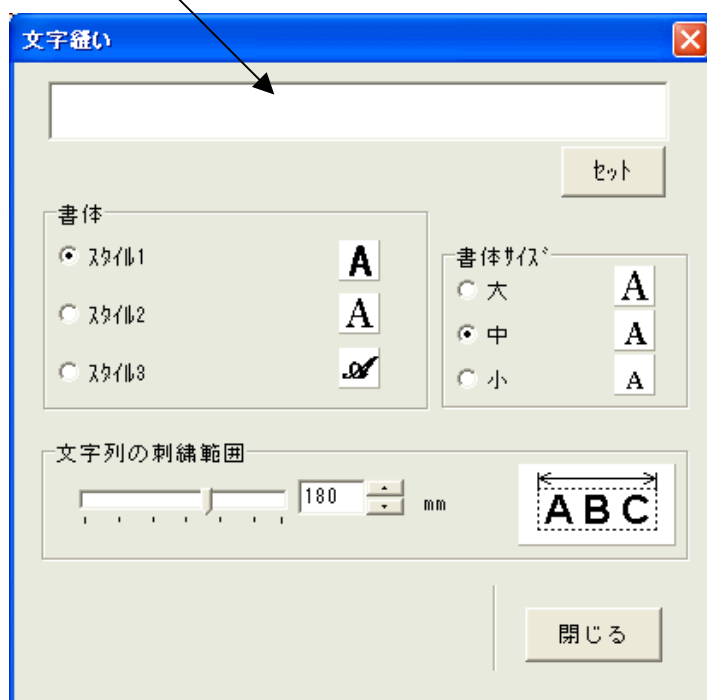


文字縫い

(機種により、使用できない場合があります)

刺繍機に内蔵された文字を選んで刺繍します。文字縫いボタンをクリックすると、文字縫い設定ダイアログが表示されます。

キーボードから文字を入力してください(注意: 日本語には対応していません)



文字のフォント，大きさ，文字列全体の大きさの3項目を決める必要があります。
文字をキーボードから入力して下さい。最大15文字まで設定できます。
入力できる文字については，刺繍機の取扱説明書をご覧ください。

「セット」をクリックすると，刺繍機へセットされます。文字列は，先頭の8文字が柄名の柄として刺繍機に保存されます。

また，範囲選択で指定した範囲より文字列の範囲が大きい場合は，刺繍機側で「範囲を越えた」のエラーが出ます。この場合は，文字数を減らすか，文字列の範囲を大きくして，エラーを解除して下さい。(機械のマニュアルも参照して下さい。)

選択項目の説明

書体選択

スタイル1，スタイル2，スタイル3の3種類から選択します。

書体サイズ

大	15mm
中	10mm
小	4mm

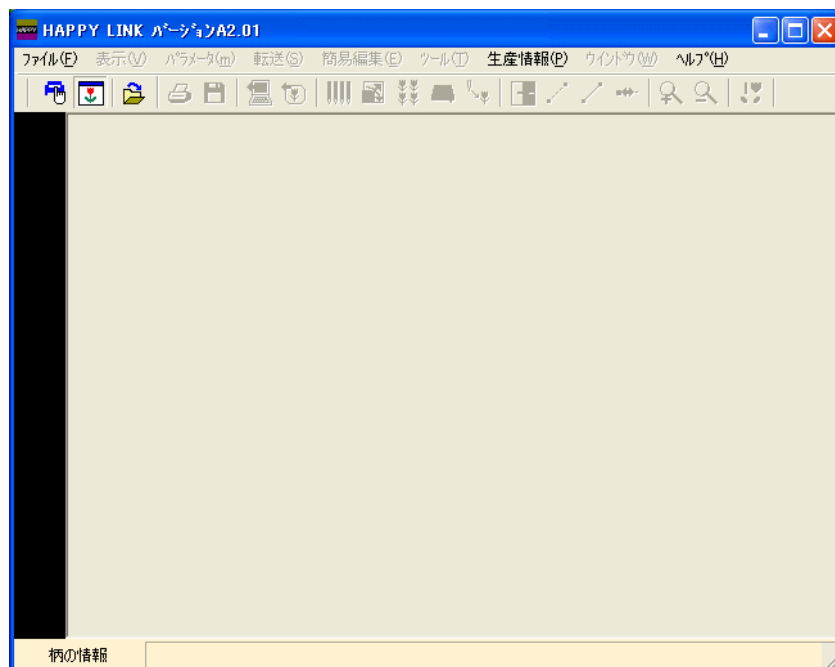
文字列の刺繍範囲

作成した文字を配置する範囲(0～290mm)を決めます。

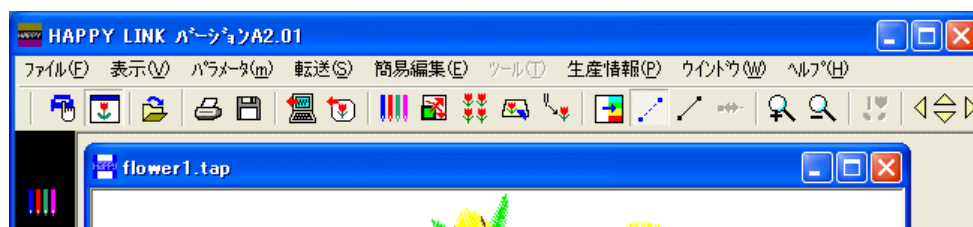
注意: 範囲の設定を0にすると，文字間を0.8mmにして作成されます。

転送モード

パソコンに保存されている刺繍データやディスクの刺繍データを、刺繍機に送るモードです。刺繍機の刺繍設定をパソコン上で行い、刺繍データを送るときに、一緒に送ることができます。また刺繍データに、簡単な編集をすることができます。起動時はこのモードになっています。(下図)



柄を読み込むとメニューやツールボタンが使えるようになります。



刺繍データをパソコンから選ぶには「柄の読み込み」をご覧ください。
柄読み込みのあとは、希望に応じて、針棒選択や柄調整などの刺繍設定をおこない、柄を刺繍機に送ります。

主な機能

1. 柄の読み込み

パソコンに保存されている刺繍データやディスクの刺繍データを読み込んで柄を表示します。

2. 針棒選択

刺繍する針の順番をセットします。刺繍の色替え毎に、セットした針に切り替わります。

3. 柄調整

拡大・縮小、回転、反転などを施して刺繍する場合に設定します。

4. 繰り返し設定

一枚の布に、同じ柄を複数、縫うことができます。

5. フレームアウト設定

指定した色を縫い終えた後、枠を自動で指定した位置に移動する機能です。

刺繍途中に何らかの処理をしたい場合などに設定します。

6. オフセット設定

柄がオフセット指定した位置から柄の始点に移動する機能です。

7. 簡易編集

柄データのステッチ(針数)の追加、消去、移動、ファンクションの追加、変更等の簡易データ編集です。

8. 刺繍機への柄の送信

各種設定したり、編集したりした柄を刺繍機に送ります。

9. 柄データのセーブ

各種設定したり、編集したりした柄を PC やフロッピーに保存します。

10. 背景色の変更

柄の背景色(布の色)を変更することができます。

11. 枠チェック(読み込んだ柄の枠確認後の送信)

柄転送後の柄位置と現在の枠位置を表示した後、画面上で移動した枠の位置へ、刺繍機の枠を移動し、その後、刺繍機へ柄を転送します。

12. 生産データ

生産データが表示されます。

13. 柄模様をプリンタに出力

選択柄を印刷できます。

14. 色ブロックごとの表示

「簡易編集」において、現在のステッチ(針数)位置の色ブロックのみを表示します。

ツールボタンの説明



操作モードへの切り替え



転送モードボタン

(ソフト起動時はこの転送モードボタンが選択されていて、転送モードになっています)



柄読み込み



柄模様をプリンタに出力



読み込んだ柄データをHAPPY形式で保存



柄データを刺繍機に送信



枠チェック(読み込んだ柄の枠確認後の送信)

(機種により、使用できない場合があります)



針棒選択



柄調整



繰り返し縫い設定



フレームアウト



オフセット



背景色の変更



柄中のジャンプを線表示



針落ち点表示



針落ち点のサイズの大小切替(針落ち点表示後に有効)



ズームイン



ズームアウト



色ブロックごとの表示(編集時のみ有効)

インジケータについて

画面左端の黒枠がインジケータです。

針棒選択, 柄調整, 繰り返し, 簡易編集の各種の設定がなされると, ここにアイコンが表示されます。

針棒選択



柄調整(拡大縮小など)



繰り返し



フレームアウト



オフセット



簡易編集



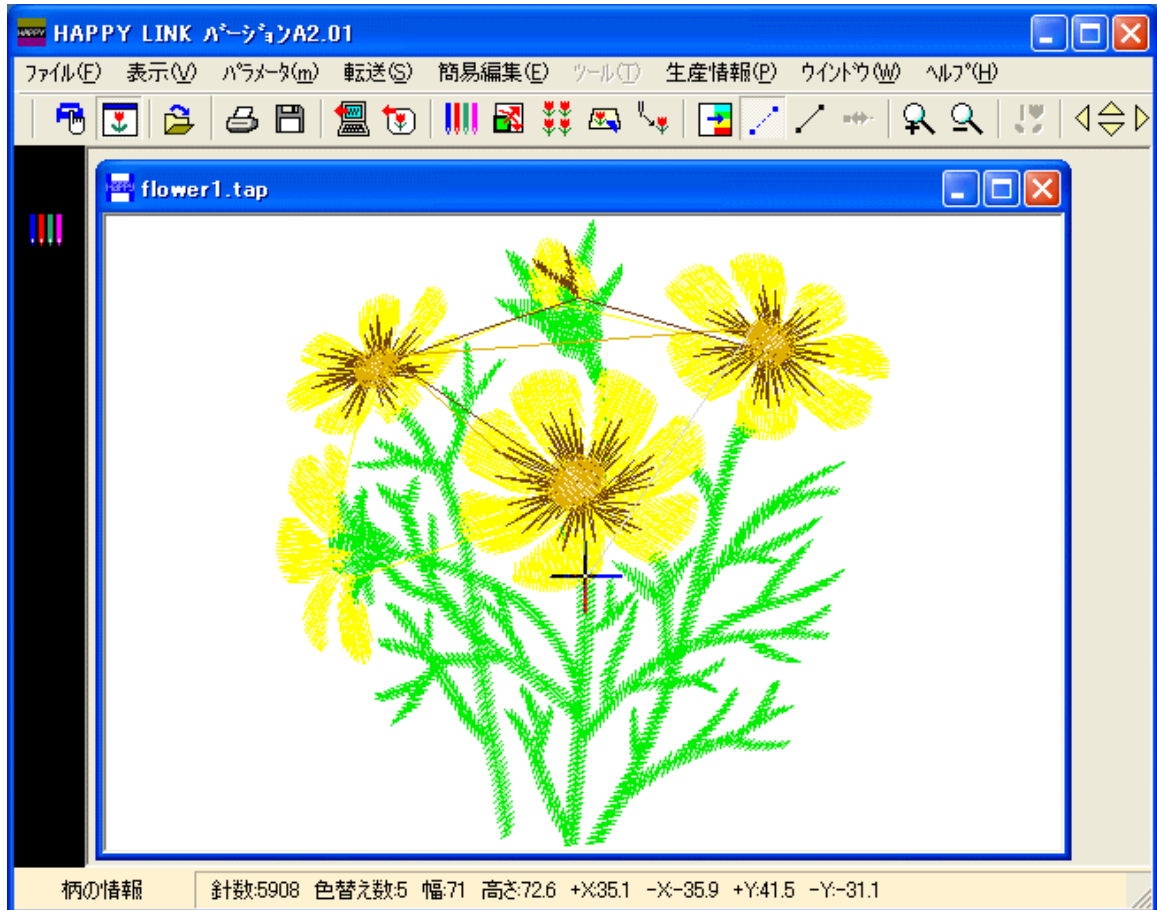
各機能の使用法（転送モード）

柄の読込

パソコンから、刺繍したい柄を選んで読み込みます。

ハードディスクやフロッピーディスクなどから刺繍データを読み込みます。

読み込んだ柄は、下図の様に画面上に表示されます。



注意:

柄表示は、プログラムのウインドウ画面のサイズに適した表示サイズに拡大縮小されて表示されます。ウインドウを最大化してから、柄を読み込んだ場合は、柄の表示サイズが大きくなります。

最大化する前に開いた柄は、最大化後もサイズは変わりません。一度柄を閉じてから再度読み込み直すと、ウインドウに合わせたサイズで表示することができます。

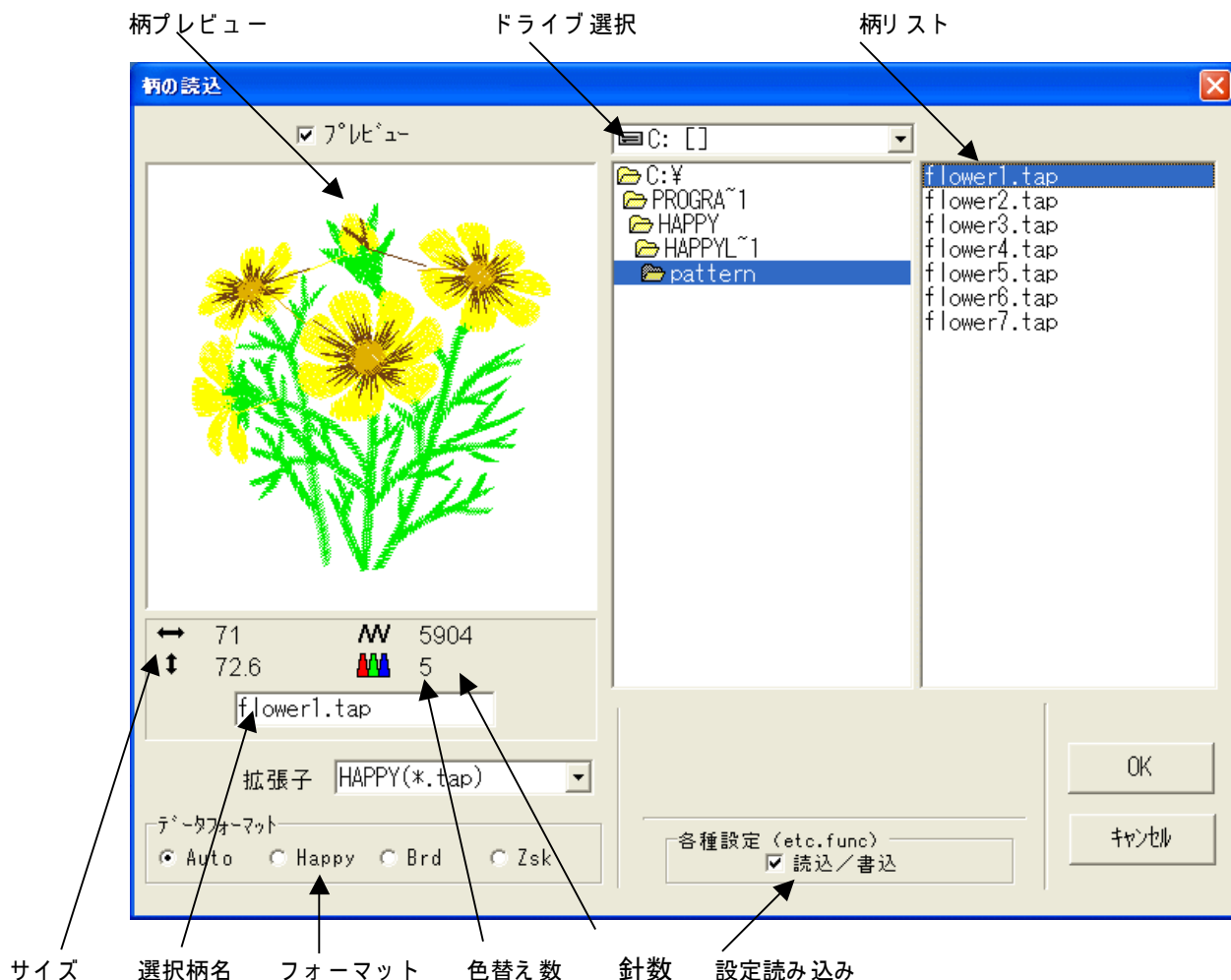
読み込み方法

その 1. 柄ファイル選択ダイアログを開いて、一覧から柄を選ぶ方法

その 2. ウィンドウズエクスプローラなどからの、ドラッグ & ドロップする方法

1. 柄ファイル選択ダイアログでの柄の読み込み

転送モード画面でこのボタンをクリックすると、柄選択の画面が開きます。



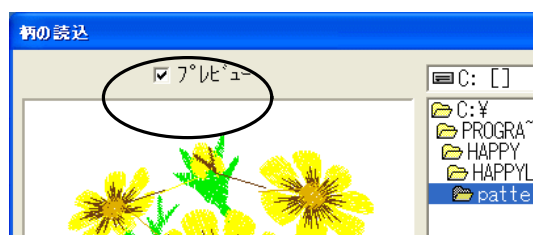
読み込みは、次のようになります。

1. ドライブとフォルダを操作して、柄の入っている「Pattern」フォルダをダブルクリックします。
2. 柄リストから柄をクリックして選んでください。(プレビューエリアに柄の外観が表示されます)。
3. 「OK」をクリックします。柄選択の画面が閉じて、柄が表示されます。DSTディスクはDST・DSB・DSZに対応しています。「拡張子」で選択してください。(通常は、HAPPYディスクのHAPPY(.tap)になっています)
選択できるのは、TJM(dst, dsb, dsz)の3種類です。

注意: 柄模様が形成されない場合

柄表示が正常に形成されない場合は、「データ・フォーマット」で”Brd”か”Zsk”にしてください。

また、柄の針数が多いとプレビューや柄の表示、に時間がかかる場合があります。プレビューの必要が無い場合は、プレビューのチェックをはずしてください。

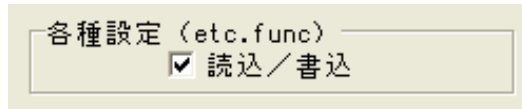


2. ドラッグ & ドロップでの柄の読み込み

エクスプローラから柄データファイルをドラッグし、ウインドウにドロップすることで、柄をオープンできます。

HAPPY ディスクの HAPPY(*.tap), TJM(*.dst)(*.dsb)(*.dsz) の柄ファイルが読み込み可能です。

各種設定読み込み/書き込み (etc.func オプションについて)



チェックされている場合

針棒選択, 柄調整, 繰り返し, オフセット, フレームアウトの設定が「Happy 専用設定ファイル」に保存されます。

柄を読み込む場合は,「専用設定ファイル」が保存されているならば, 設定も同時に読み込むことができ, 設定の手間を省くことができます。

柄の転送の場合は,「専用設定ファイル」が柄と共に送信されます。

チェックされていない場合

設定値は保存されず, 送信もされません。また, 保存してある設定値も読み込みません。

注意:

「各種設定読み込み書き込み」がチェックされていない場合や, チェックされていても「専用設定ファイル」が作成されていない場合は, 送信後以下のメッセージが出ます。

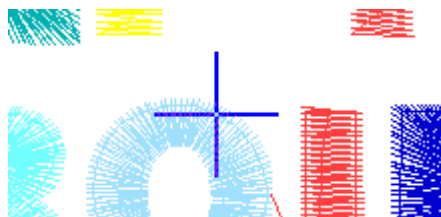


柄情報表示

柄の情報を表示します。

マーカー（十字形のカーソル）

編集中的柄画像において、現在のステッチ（針数）の位置を示します。
編集集中でない場合は、柄データの先頭を示します。



柄の情報	針数:6074 色替え数:24 幅:129.5 高さ:57.6 +X:64.8 -X:-64.7 +Y:28.8 -Y:-28.8
------	---

（表示画面の下端に表示します。）

ステッチ数

柄のステッチ（針数）を示します。

色替え数

色替え数を示します。

幅

柄の横（x）方向の幅を示します。

高さ

柄の縦（y）方向の高さを示します。

+X

柄の、刺繍のスタート点を原点としたときの、Xプラス方向の最大の移動量を示します。

-X

柄の、刺繍のスタート点を原点としたときの、Xマイナス方向の最大の移動量を示します。

+Y

柄の、刺繍のスタート点を原点としたときの、Yプラス方向の最大の移動量を示します。

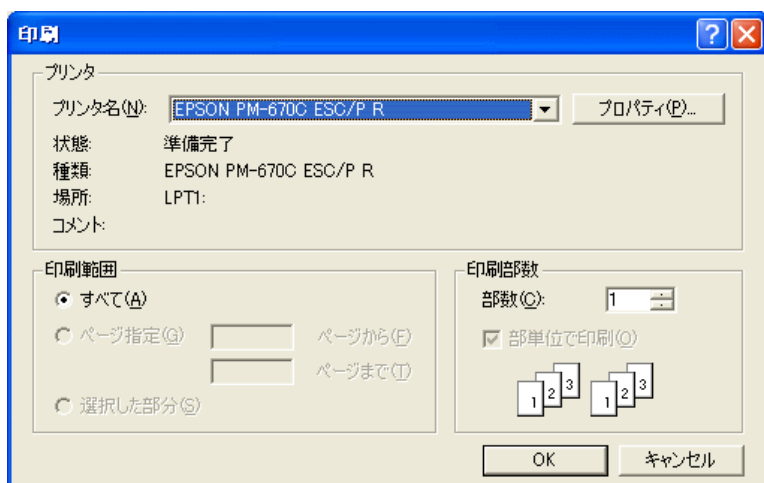
-Y

柄の、刺繍のスタート点を原点としたときの、Yマイナス方向の最大の移動量を示します。



印刷

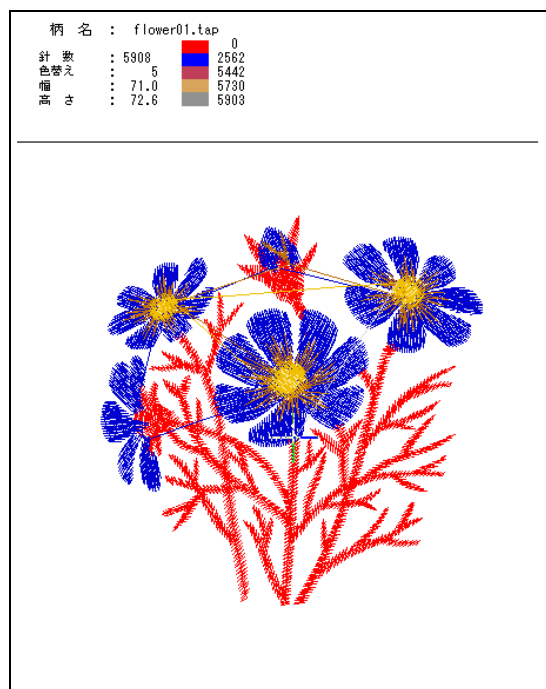
現在表示中の柄を印刷します。このボタンをクリックすると、印刷のダイアログが現れます。



印策内容:

1. 柄名
2. ステッチ数
3. 色替え数
4. 幅
5. 高さ
6. 色替えごとの表示カラーとステッチ数
7. 柄模様

印刷の例を次に示します。



注意:

メニューバーの「ファイル」の「印刷設定」をクリックすると、詳細なセットアップが可能です。

PCで使用しているプリンタドライバの種類によって、印刷のダイアログやドライバプロパティの表示される画面は異なります。



柄の保存

読み込んだ柄を、名前を変えて保存、または上書きします。

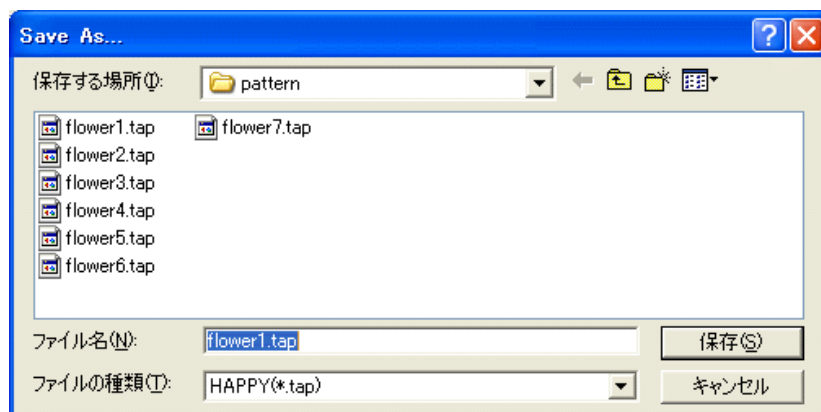
注意:

柄ファイル選択ダイアログの、「各種設定の読み込み/書き込み」がチェックされている場合は、針棒選択などの設定も同時に保存することができます。

tajima柄は、Happy 形式に変換されて保存されます。

変換後、刺繍データを同じ名前で保存すると、元の刺繍データに上書きされます。注意してください。大切なデータは、編集前に必ずバックアップを取ってください。

柄の保存ボタンをクリックすると、ファイル名入力のダイアログが現れます。



保存するフォルダを決め、ファイル名を入力し、[保存]をクリックすると保存します。

注意:

CD-ROMや CD-Rなどには保存できません。



刺繍機への柄送信

パーソナルコンピュータから、刺繍機に柄を送信します。(※柄が読み込まれていないと、実行しません。) 実行前に、刺繍機側で、データの受け入れ準備が整っていることを確認してください。

注意:

柄ファイル選択ダイアログの、「各種設定の読み込み/書き込み」がチェックされている場合は、針棒選択などの設定も同時に送信します。

なお、送信後に HappyLink 対応の刺繍機で保存される柄のステッチ数は、「トレースデータ」分のステッチ数が必ず加えられるので送信前の柄のステッチ数よりも多くなります。「トレースデータ」については、刺繍機のマニュアルの「トレース方法」を参照して下さい。

刺繍機側でのデータの受け入れ準備

オートシリアル機能が装備されているかどうかは、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。なお、HappyLink 対応の刺繍機はオートシリアル機能が装備されています。

オートシリアル機能が装備されている刺繍機の場合

刺繍機側を「運転モード」(刺繍機側で刺繍を開始できる状態)にしておく必要があります。

「運転モード」については、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。

また、設定した内容も柄データと共に送られます。

オートシリアル機能が無い刺繍機の場合

「テープ読み込み」の設定で受信してください。

「テープ読み込み」の場合は、以下の点に従ってください。

注意:

「柄読み込み」で柄を読み込む場合、柄ファイル選択ダイアログの、「各種設定の読み込み/書き込み」のチェックを「No」にしてください(チェックマークを外してください)。すでに柄を開いていた場合は、一端閉じて、これをおこなってから柄を読み込みなおしてください。

「Yes」の場合は、刺繍機側で、エラーが発生するので注意してください。

各種設定 (etc.func)
☒ 読込/書込

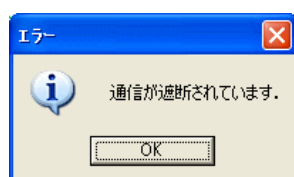
注意:

但し、通信速度(ボーレート)は、PCと全ての刺繍機で一致させておく必要があります。「シリアル通信設定」を参照して下さい。

柄の転送

刺繍機への柄送信ボタンをクリックするか、メニューの「送信」をクリックすると、柄の送信が開始されます。

ケーブルが接続されていない、または刺繍機側で準備ができていない場合は、以下のメッセージが表示され、転送されません。「OK」をクリックして下さい。

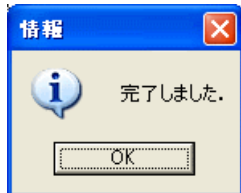


注意: USB 転送の場合は、「刺繍機は稼働中です。」を表示します。

送信途中は、プログレスバーで進行状況を表示します。

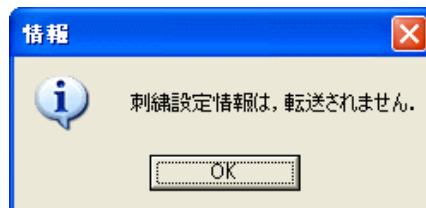


送信が終了すると、以下のメッセージが表示されます。



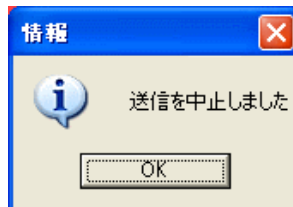
注意:

「各種設定読み込み書き込み」がチェックされていない場合や、チェックされていても「専用設定ファイル」が作成されていない場合は、送信後以下のメッセージが出ます。



また、この場合、送信された柄名は、総ステッチ数の先頭8文字になります。例えば、保存された柄が2604針の場合、柄名は「2604」として刺繍機に保存されます。

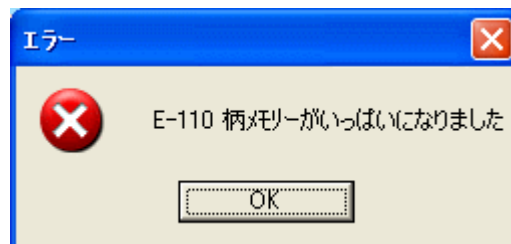
送信途中に、「キャンセル」をクリックすると、途中キャンセルします。この時、以下のメッセージが出ますので「OK」をクリックします。



注意:

通信スピード(ボーレート)がPCと刺繍機で異なる場合に送信すると、刺繍機側では「エラー E-090」が表示され、データを受信しません。(PC側では最後まで転送を続けますので、プログレスバーの「キャンセル」をクリックして下さい。)

なお、柄の送信中に、刺繍機のメモリが足りなくなった場合は、以下のメッセージが表示されます。(柄は、送信されません。) 刺繍機からいくつか柄を削除した後、柄を再転送して下さい。





枠チェック（読み込んだ柄の枠確認後の送信）

読み込んだ柄が刺繍枠に入るかを画面表示から確認できます。画面上で枠の位置を移動し、「セット」をクリックすると、刺繍機の枠が設定位置へ移動し、刺繍機へ柄を送信します。

（機種により、使用できない場合があります）



「枠確認」ボタンをクリックすると、チェック画面がオープンします。（あるいは、メニューの「転送」→「枠確認」を選択します。）

枠種類:

- R-丸枠: レギュラー丸枠
- R-角枠: レギュラー角枠
- T-丸枠: チューブラー丸枠
- T-角枠: チューブラー角枠
- 帽子枠: 帽子のための枠
- ユーザ枠: ユーザー定義枠

注意:

刺繍機で使用できない枠は、表示されません。

枠は有効な内寸で表示されます。

ユーザー定義枠の欄には、5種類の枠サイズを入力しておくことができます。

作業途中で「枠確認」を終了するには、「閉じる」をクリックします。

刺繍機を再起動した場合は、Linkソフトも再起動して下さい。

刺繍する場合は、トレース機能で、布押さえが枠をたたくことがないか、十分確かめて下さい。
トレース機能については、刺繍機のマニュアルの「トレース方法」を参照して下さい。

チェックと 設定方法

1. リストから，現在刺繍機にセットしている枠を選びます。
枠種類を選んで決定し，枠サイズ一覧から選んでクリックしてください。
画面上に刺繍機の枠の現在位置が表示されます。



この時点で，柄が枠からはみ出す場合は，現在の枠では刺繍できません．大きい枠を使用するか，柄を縮小してください（柄調整を参照してください．）

2. 画面の中の枠を移動します（実際に，刺繍機の枠は動きません．）

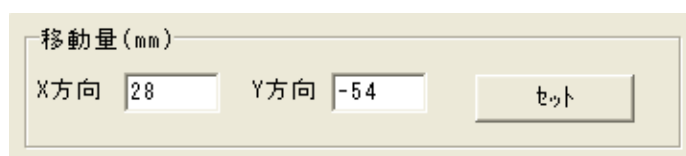


を押し続け，表示されている枠線を希望の位置まで移動します．

ボタンを押すのを止めると，移動停止します．

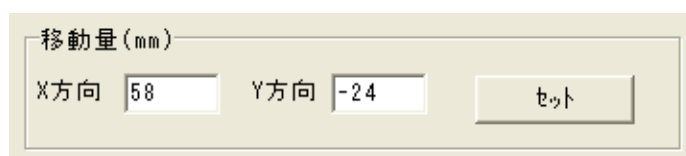
また，「センタリング」をクリックすると，柄の中心に枠の中心が移動します．

移動に連れ，最初の枠表示位置からの移動量表示が変化します



注意: 柄が枠からはみ出ないようにしてください．枠を針で打って，機械が破損し危険です

3. データを送信します．
セットボタンをクリックします．

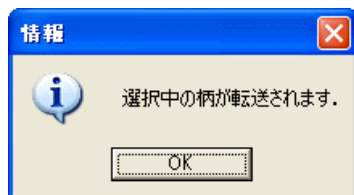


4.メッセージが表示されます。枠の移動量が刺繍機へ送信されます。



「OK」をクリックすると、実際に刺繍機の枠が移動します。注意してください。

5.メッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、柄データが刺繍機へ送信されます。

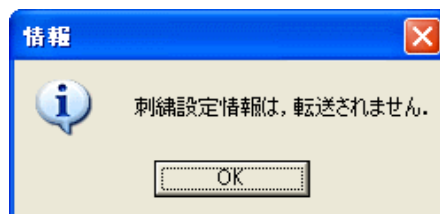
6.送信が終了すると、メッセージが表示されます。



「OK」をクリックすると、「枠確認」が終了します。

注意：

「各種設定読み込み書き込み」がチェックされていない場合や、チェックされていても「専用設定ファイル」が作成されていない場合は、送信後以下のメッセージが出ます。



また、柄送信に関しては、「刺繍機への柄送信」を参照して下さい。

ユーザー定義枠

ユーザー枠タブを選ぶとユーザー定義一覧が表示されます。

ユーザー定義枠の欄には、5種類の枠サイズを入力しておくことができます。
任意の枠サイズを登録する事ができます。(登録していない部分は、「Custom」と表示します。)

入力または変更の方法

入力または変更したい欄をクリックしてから「登録」ボタンをクリックすると入力フォームがオープンします。丸枠か角枠を選んで数値を入力してください。入力後、「OK」をクリックすると、登録完了です。

丸枠の場合

枠の内径を入力してください(針あるいは布押さえが枠を打つのを防止するため、実際の枠サイズより40 mm以上小さい値にしてください)

角枠の場合

枠の縦と横の内寸を入力してください。(針あるいは布押さえが枠を打つのを防止するため、実際の枠サイズより40 mm以上小さい値にしてください)



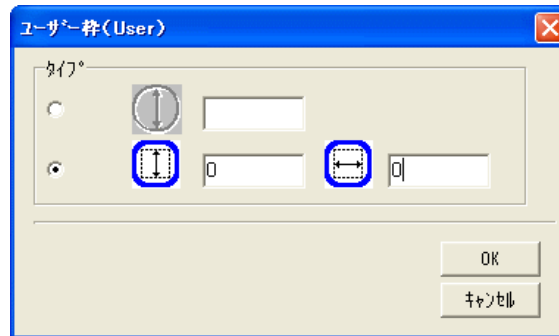
枠の縦方向の内寸



枠の横方向の内寸

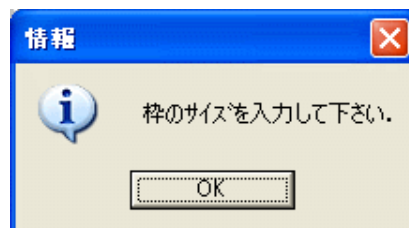
入力値をクリアして，Custom表示に戻したい場合

ゼロを入力して「OK」してください．



注意:

入力値を入れないで「OK」をクリックすると，以下のメッセージが出ます．





針棒選択

刺繍する際に使う、針棒の順番を指定しておくことができます。

注意:

ここで設定した値は、「柄の読み込み」の、「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックしていると、自動的に保存されます。

- ・ 柄の各色替えに、針棒の番号を設定します。
- ・ 色替え時に停止（ストップ）させる、色替え停止をセットすることもできます。
但し、色替え停止セット後、その針棒番号の色を変えると、色替え停止などもクリアになります。再度色替え停止をセットしてください。
- ・ 色替えごとに、刺繍スピードを設定できます

転送モード画面で「針棒選択」ボタンをクリックすると、針棒選択のダイアログが現れます。（※柄が読み込まれていない場合は、針棒選択のダイアログは現れません。）

針棒番号と糸色

色替え停止指定

クリック

糸色変更

針棒選択

針棒番号の色

12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

1 2 3 4 5 6 7

0 7606 9024 9786 11750 13097 13505

ストップ

ボラー

スピード変更

normal

sph

sp1

sp2

spm

OK

キャンセル

ゼロに戻す

ゼロにリセット

色替え番号

針棒番号

開始ステッチ数

スピード設定

設定方法:

1. 希望する色替え番号を選んでクリックします。
2. 針棒番号とカラーから、希望するカラーを選んでクリックします。
これを、色替え番号毎に繰り返します。
必要があれば、色替え停止やボラー（対応している機種のみ）をチェックします。
3. 入力終了したら、[OK] をクリックすると、刺繍機にセットされます。

ストップ

針棒番号をセットした後でこれをチェックすると、針番の右に「＊」マークが表示され色替え停止がセットされます。刺繍が進行し、この色替えにくると、刺繍機は一端停止します。刺繍再開は、刺繍機側のスタートボタンを押してください。

ボーラー

チェックすると「B」が表示され、この色替えに来た場合は、ボーラー設定になります。ただし、刺繍機がボーラー仕様であることが必要です。「オプション」を参照して下さい。

スピード変更

色替えごとに刺繍スピードを設定することができます。チェックすると設定したスピード値を表示します。

Normal

通常のスปีド

sph

スピード制限の解除

sp1

スピード制限を約700rpm(機種により異なる)にする

sp2

スピード制限を約600rpm(機種により異なる)にする

spm

スピード制限を約300rpm(機種により異なる)にする

リセットボタン

入力した針棒番号が、全てゼロになります。その他に設定した内容(ストップ等)も全てクリアになります。

OKボタン

入力された内容を、「専用設定ファイル」に保存します。


キャンセル

入力した内容を、「専用設定ファイル」に保存しないで、画面を終了します。

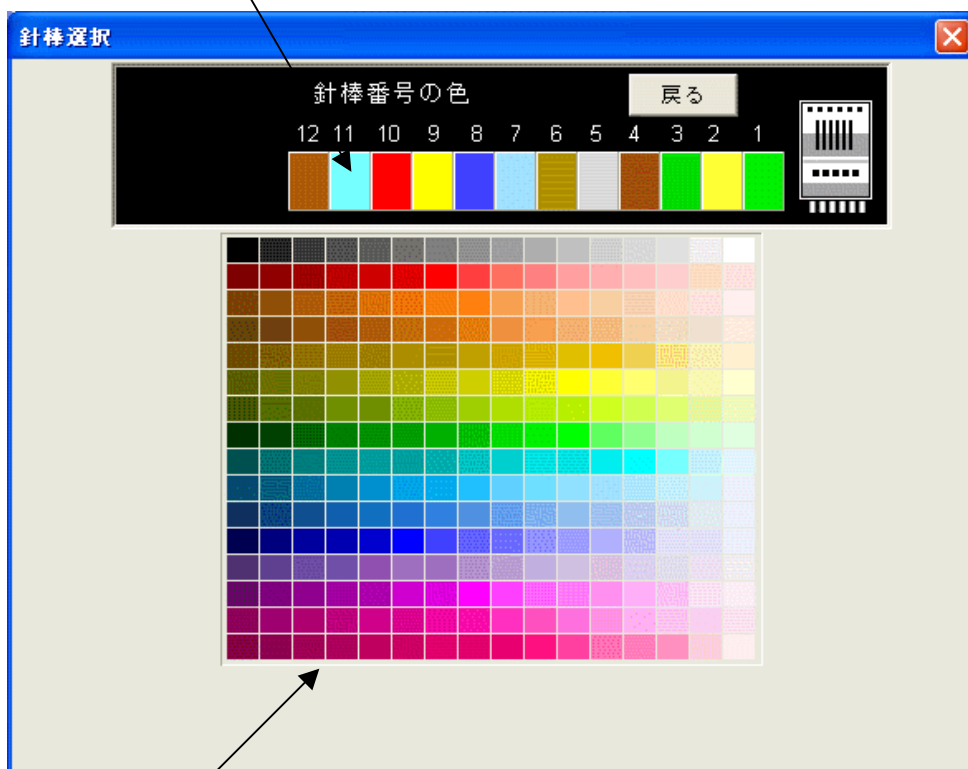
糸色変更ボタン

糸色を変更する画面に変わります。刺繍機の糸の色と合わせたい場合に変更してください。

糸色変更方法

1. 針棒設定画面の糸色変更ボタンをクリックし、糸色変更画面にします。
2. 変更したい針棒番号の色をクリックして選択します。
3. カラーパレットの中の、希望する色をクリックします。針棒番号の色が変更されます。
4. この画面を終了するには、[戻る] をクリックします。

針棒番号の色



パレット



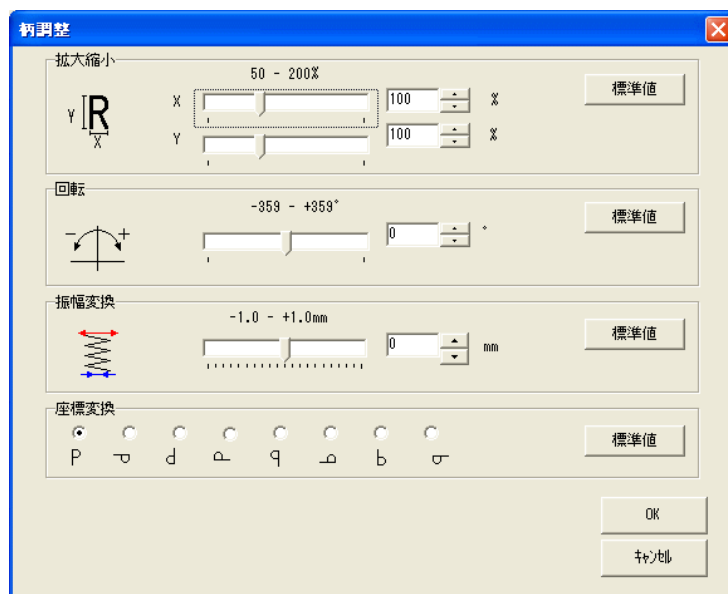
柄調整

選択した柄に、拡大縮小、座標変換等の各種設定をすることができます。(刺繍データ自体は変更されません。座標変換されて刺繍されるだけです)

注意:

ここで設定した値は、「柄の読み込み」の、「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックしていると、自動的に保存されます。

転送モード画面で「柄調整」ボタンをクリックすると、柄調整設定のダイアログが現れます。(※柄の読み込みがされていなければ、柄調整設定のダイアログは現れません。)



入力は、次のどの方法でも可能です。

1. スクロールバーのツマミをマウスでドラッグする
2. 数値ボックスに数値をキーボードで入力する
3. アップダウンをマウスでクリックする、

座標変換は、チェックボタンをマウスでクリックしてください。

[標準値] のクリックで標準の値に戻ります。

入力が終了したら [OK] をクリックすると、画面が終了します。

※振幅調節を設定して刺繍すると、終点に誤差を生じる場合があります。このようなときは、振幅調節の設定値を "0.0" に戻して下さい。

拡大縮小

柄を縦横それぞれ 1% ステップで拡大縮小します。

- ・ 横 (X) 方向の拡大縮小 (Scale X) 50~200% 標準 100%
- ・ 縦 (Y) 方向の拡大縮小 (Scale Y) 50~200% 標準 100%

回転

柄の始点を軸にして、1° ステップで時計方向に角度を変えます。

- ・ 回転 (Angle) -359~+359° 標準 0°

振幅変換

柄の縫い目の振幅 (L) を、-1.0~+1.0mm の範囲で 0.1mm ステップおきに調節します。

- ・ 振幅調節 (Width) -1.0~+1.0mm

座標変換

柄の始点を軸にして 90° ステップで角度を変え、ミラー反転を行います。

- ・ 座標変換 "P" を基準に 8 パターン設定できます。



繰り返し

選択されている柄を、横縦それぞれ指定した個数だけ、自動的に刺繍します。

注意: 柄読込時に「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックしていると、自動的に保存されます。

転送モード画面で「繰り返し」ボタンをクリックすると、繰り返し設定のダイアログが現れます。

(※柄の読み込まれていないと、繰り返し設定のダイアログは現れません。)

入力は、次のどの方法でも可能です。

1. スクロールバーのツマミをマウスでドラッグする
2. 数値ボックスに数値をキーボードで入力する
3. アップダウンをマウスでクリックする。

優先方向は、チェックボタンをマウスでクリックしてください。

[標準値] のクリックで標準の値に戻ります。

入力が終了したら [OK] をクリックすると、画面が終了します。

個数

繰り返しを行う時の、横(X)方向、縦(Y)方向の個数を設定します。刺繍される個数は横と縦の個数をかけた数になります。

- ・ 横の個数(X) 1～30
- ・ 縦の個数(Y) 1～30

間隔

繰り返しを行う時の、各柄の始点間の寸法を設定します。横の間隔(X)で、プラスの数値を入力すると右に、マイナスの数値を入力すると左の方向に繰り返しを行います。縦の間隔(Y)で、プラスの数値を入力すると上に、マイナスの数値を入力すると下の方向に繰り返しを行います。

- ・ 横の間隔(X) -999.9～999.9mm
- ・ 縦の間隔(Y) -999.9～999.9mm

優先方向

横と縦の個数を2以上に設定したときに、2個目を刺繍する方向を設定します。

- ・ 横(X): 横方向の個数を縫ってから縦方向の個数を縫います
- ・ 縦(Y): 縦方向の個数を縫ってから横方向の個数を縫います



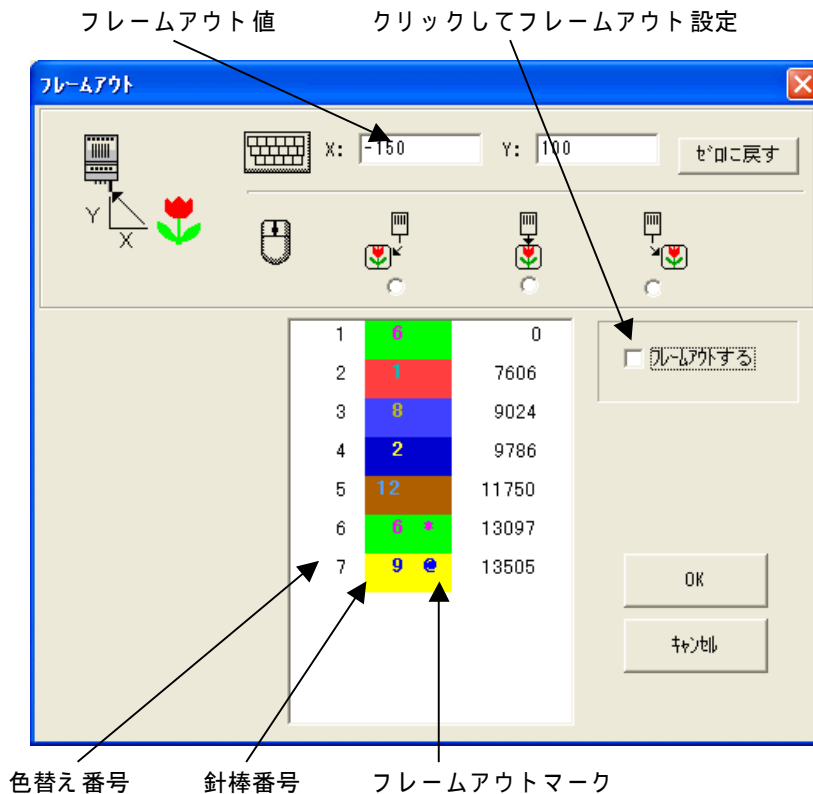
フレームアウト

柄の色番に、フレームアウトを設定することにより、その色番を縫い終えた後、枠をフレームアウトで設定した位置に移動して停止させることができます。運転を再開すると、正常な位置に戻ってから刺繍を続けます。刺繍途中の糸処理や、アプリケに便利です。

注意:

「柄の読み込み」の「各種設定の読み込み/書き込み」(etc.func の read/write)をチェックしていると、自動的に保存されます。

「フレームアウト」ボタンをクリックすると、入力画面がオープンします。

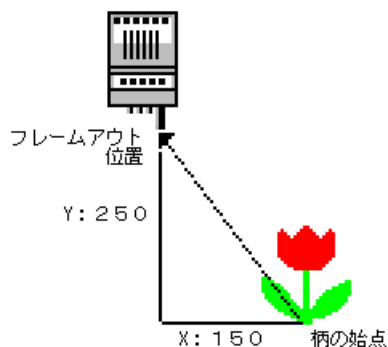


フレームアウト値をキーボードで数値入力し、次にフレームアウトさせたい色替え番号をクリックしてください。さらに「フレームアウトする」をクリックします。設定された箇所は針棒番号の右側に@が表示されます。

柄の始点を基準点にして、フレームアウト位置までの移動量を設定します。

フレームアウト 設定方法

例1)



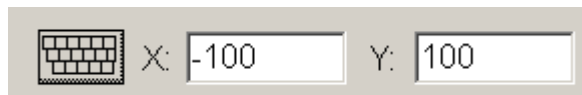
1. X: -150 Y: 250 数値を入力する。
2. フレームアウトさせたい色替え番号をクリックする。
3. 「Frame out」をクリックする。設定されると、針棒番号に@が付きます。
4. 入力が終了したら[OK]をクリックすると、画面が終了します。

例2．入力の簡単設定)

注意: 設定後, 例1 の項2 ～4 を行う 必要があります.



チェックボタンをチェックすると, 決まった値が設定されます.



に表示されます.



フレームアウト時に枠が手前左側に出てきます. X: 1 0 0, Y: 1 0 0 が設定されます.



フレームアウト時に枠が手前に出てきます. X: 0, Y: 1 0 0 が設定されます.



フレームアウト時に枠が手前右側に出てきます. X: -1 0 0, Y: 1 0 0 が設定されます.



オフセット

オフセット位置を設定すると、刺繍枠がオフセット位置から柄の縫い始めのポイントに移動して、刺繍を開始します。

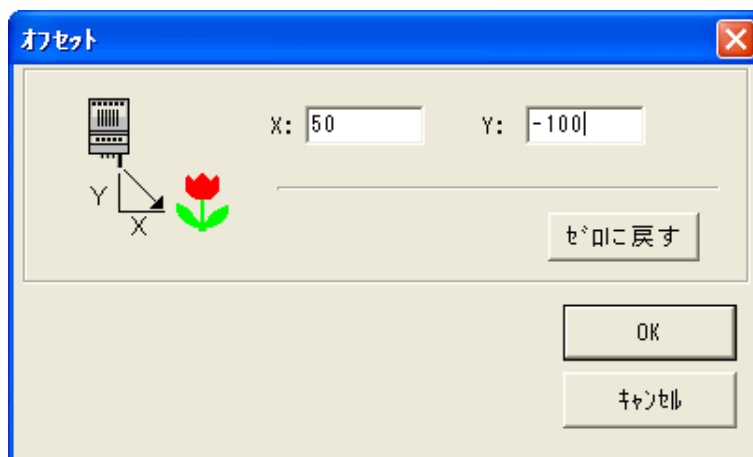
オフセットを設定することにより、枠を手作業しやすい位置からスタートさせることができます。

自動原点復帰機能と併用すると、刺繍が終了した時に、枠が自動的に、オフセット位置に戻ります。

注意:

ここで設定した値は、「柄の読み込み」の、「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックしていると、自動的に保存されます。

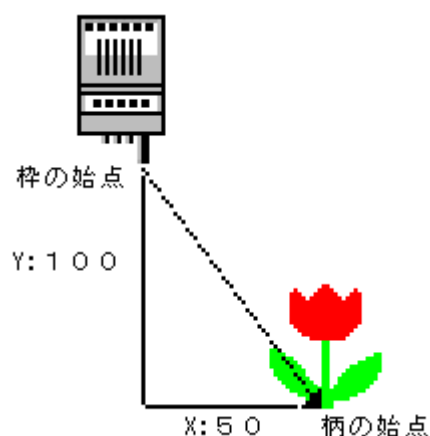
「オフセット」ボタンをクリックすると、入力画面がオープンします。



枠の始点を基準点にして、柄の始点までの移動量を設定します。

オフセット設定方法

例)

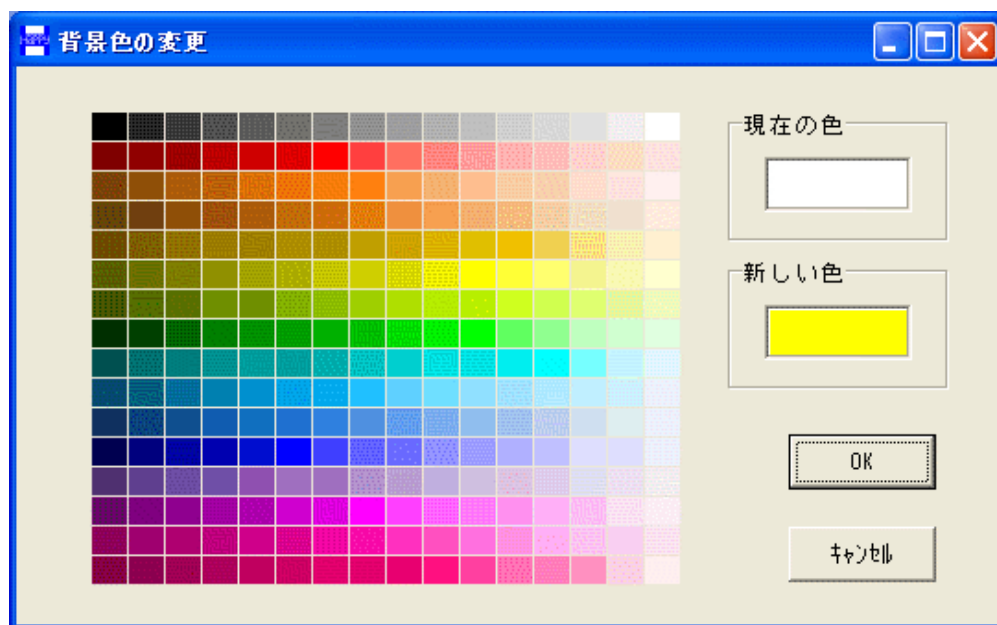


1. X: 50 Y: -100 数値を入力する。
2. 入力が終了したら[OK]をクリックすると、画面が終了します。

背景色の変更

柄の背景色（布の色）を変更できます。

「背景色変更」ボタンをクリックすると、背景色変更の画面がオープンします。



設定した色は、次に背景色を変更するまで有効です。現在の背景色が「現在の色」に表示されます。パレットをクリックすると、「新しい色」に新しい色が表示されます。「OK」すると背景色が変更されます。

ジャンプ表示

このボタンをクリックすると、柄のジャンプを線で表示します。表示を消したいときは、もう一度クリックしてください。

針落ち点表示

柄模様の上に、針落ち点を黒点で表示します。

柄模様の色が暗い場合は、黄色の点で表示されます。サイズの大きい柄では、点の大きさが小さい場合があります。次の、針落ち点の大きさ変更ボタンで大きくすることができます。

針落ち点の大きさ変更

針落ち点表示ボタンが押されている時、このボタンをクリックすると、針落ち点の表示を大きくします。元に戻すときはもう一度クリックします。

ズームイン・アウト

このボタンをクリックすると、現在表示中の柄を、マーカーを中心に拡大したり、縮小したりします。（※表示は拡大縮小されますが、柄データは変わりません）

色ブロックごとの表示

「簡易編集」をクリックすると使用できます。「簡易編集」の「色ブロックごと表示」を参照して下さい。



視点移動

柄の表示位置を変更します。
キー操作で、左右上下に視点を移動することができます。



〔右移動〕キー

視点が右に移動します。



〔左移動〕キー

視点が左に移動します。



〔上移動〕キー

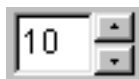
視点が上に移動します。



〔下移動〕キー

視点が下に移動します。

視点移動量の変更



移動キーのステップを変更します。
アップダウンキーで数値変更するか、キーボードで数値を入力します。
値が大きいと、柄が画面の外にはみ出して、見えなくなる場合がありますので注意してください。

簡易編集

選択した柄の表示，現在のステッチ(針数)位置のマーカ表示，現在のステッチ(針数)とそのデータの表示を行い，簡単な編集ができます。編集した刺繍データは，保存することができます。

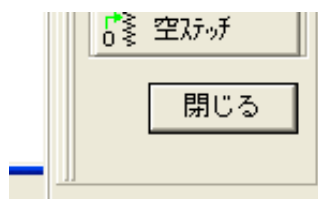
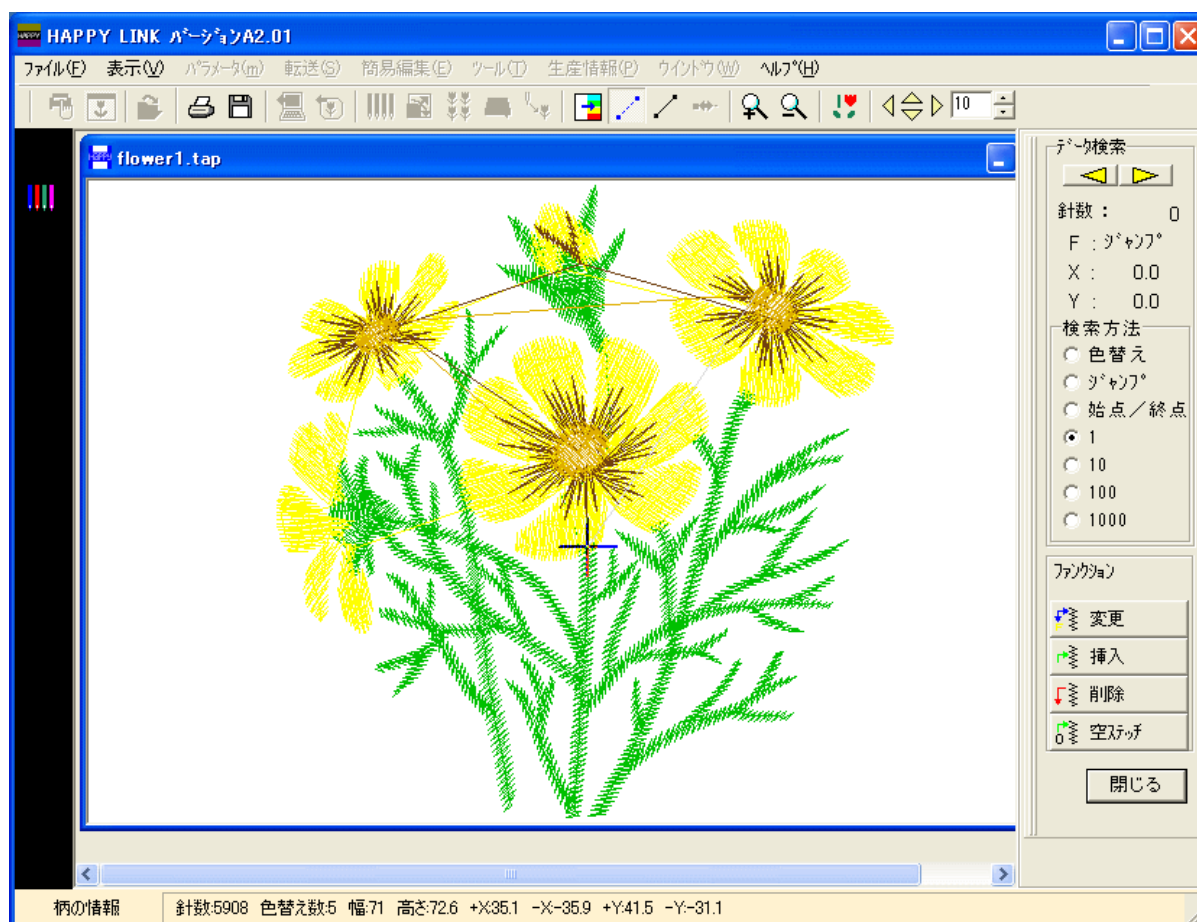
注意：

大切な刺繍データは，失わないために編集前にバックアップしてください。編集後，刺繍データを同じ名前で保存すると，元の刺繍データに上書きされます。



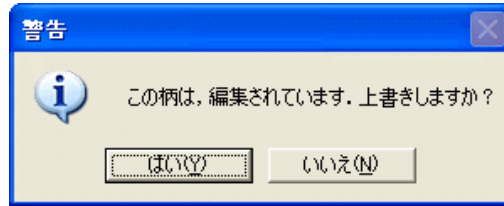
「簡単編集メニュー」をクリックすると，簡単編集画面になります。

(※転送モードでのみ可能です。また，柄の読み込みがされていなければ，簡単編集画面にはなりません。)



この「閉じる」ボタンをクリックすると編集画面を終了し，転送モード画面に戻ります。

「閉じる」をクリックすると、編集されたファイルがある場合は、「編集中のファイルがあります。上書き保存しますか？」のメッセージが表示されます。



「はい」を選択すると、編集内容が上書きされます。「いいえ」をクリックすると、編集内容は破棄されます。

簡易編集では、つぎのことができます。

1. データ 検索

編集したいステッチまで移動し、ステッチ(針数)とそのデータを表示します。

2. データ 検索方法

ステッチデータ 検索方法を、選択します。

3. ファンクション

選択されている柄データのステッチ(針数)の追加、消去、移動、ファンクションの追加、変更等のステッチデータ 編集等を行います。刺繍データ 自体が変更されます。大切な刺繍データは、編集前にバックアップを取っておいてください

ステッチ 内容の変更

現在のステッチ 内容を色替え・ジャンプ・終了・一般ステッチへ変更できます。

ステッチの挿入

現在のステッチの 前に色替え・ジャンプ・終了・一般ステッチを挿入できます。

削除

現在のステッチを削除できます。

空ステッチ(ゼロのデータ)

ゼロデータを挿入できます。

4. 色ブロックごと 表示ボタン

ボタンを押した状態で、ステッチを進めていくと、現在のステッチ(針数)の位置の色ブロックのみを表示することができます。(編集時のみ有効)

5. 編集内容の破棄

「簡易編集」で変更した内容を破棄し、「簡易編集」に入る直前の柄データと針棒選択設定に戻すことができます。

注意

柄を閉じると、簡易編集モードは終了します。

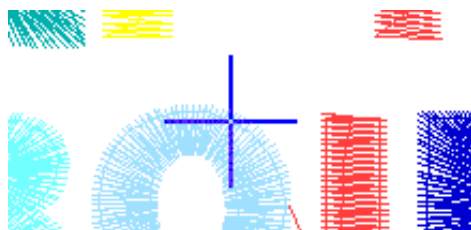
編集した柄を保存せずに編集を終了すると、編集柄を保存するかの問い合わせがあります。

データ 検索



編集したいステッチまで移動し、編集中的ステッチ(針数)のデータを表示します。また、簡易編集画面の、マーカー(十字形のカーソル)で、ステッチ(針数)の位置を示します。

簡易編集画面



「ステッチ」

柄のステッチ(針数)を表します。

「F」

そのステッチ(針数)時の、ファンクションコードを表します。

「X」

そのステッチ(針数)時の、横(x)方向の移動量をあらわします。

「Y」

そのステッチ(針数)時の、縦(Y)方向の移動量を表します。



【前進検索】キー

ステッチの位置を進めます。

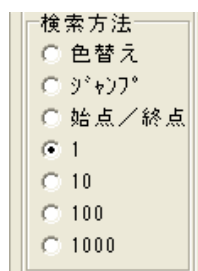


【後退検索】キー

ステッチの位置を戻します。



検索方法は、「データ 検索方法」から選択します。

データ 検索方法





ステッチ（針数）データの検索方法を次の中から選択します。



「色替え」

カラーチェンジファンクションを検索します。「前進検索」をクリックすると、次の色替え（カラーチェンジ）へ進みます。「後退検索」をクリックすると、前の色替え（カラーチェンジ）へ戻ります。カラーチェンジファンクションのある柄は、針棒選択をしておくと、刺繍時に刺繍する糸を変えることができます。



「ジャンプ」

ジャンプファンクションを検索します。をクリックすると、次のジャンプへ進みます。をクリックすると、前のジャンプへ戻ります。
ジャンプファンクションは、縫わずにジャンプします。



「終了」

エンドポイントを検索します。をクリックすると、エンドポイントへ進みます。をクリックすると、スタートポイントへ戻ります。
エンドポイントは、刺繍の終了位置です。



「1 針ごと」

1 進ずつステッチ（針数）を進めます。をクリックすると、1 針進みます。をクリックすると、1 針戻ります。



「10 針ごと」

10 針ずつステッチ（針数）を進めます。をクリックすると、10 針進みます。をクリックすると、10 針戻ります。

「100 針ごと」

100 針ずつステッチ（針数）を進めます。をクリックすると、100 針進みます。をクリックすると、100 針戻ります。

「1000 針ごと」

1000 針ずつステッチ（針数）を進めます。をクリックすると、1000 針進みます。をクリックすると、1000 針戻ります。

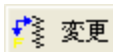
ファンクション



簡易編集画面において、選択されている柄データのステッチ(針数)の追加、消去、移動、ファンクションの追加、変更等のデータ編集等を行います。

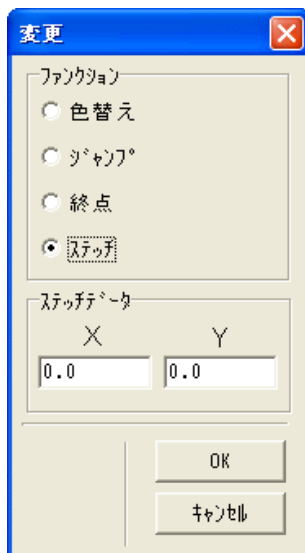
注意:

変換後、刺繍データを同じ名前で保存すると、元の刺繍データに上書きされます。注意してください。
大切なデータは、編集前にバックアップを取ってください。
編集中に、「簡易編集」に入る直前の状態に戻すことができます。「編集内容の破棄」を参照して下さい。

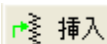


【変更】キー

選択されている柄のステッチ(針数)データの変更を行います。変更キーをクリックすると、ステッチ(針数)編集ダイアログが現れます。



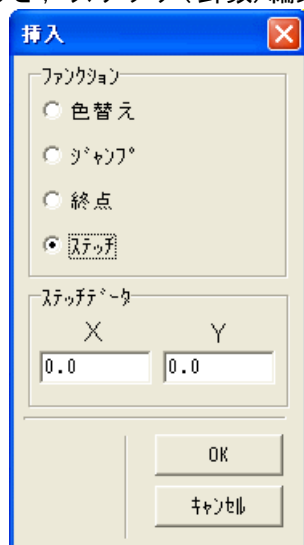
「ジャンプ」ファンクションを選択したとき、また「ステッチ」を選択したときは、ジャンプの長さ、ステッチの長さを入力します。
“ステッチデータ”欄の“X”、“Y”に数値を入力します。
「色替え」、「終了」ファンクションを選択したときは、“ステッチデータ”欄には入力できません。
[OK]をクリックすると、変更した柄が表示されます。
変更した場合は、柄の形が変わることがあります。注意してください。



挿入

【挿入】キー

選択されている柄のステッチ(針数)データの前に、ステッチ(針数)を挿入します。挿入キーをクリックすると、ステッチ(針数)編集ダイアログが現れます。



「ジャンプ」ファンクションを選択したとき、また「ステッチ」を選択したとき、「ステッチデータ」欄の「X」、「Y」に数値を入力します。「色替え」、「終了」ファンクションを選択したときは、「ステッチデータ」欄には入力できません。

[OK]をクリックすると、変更した柄が表示されます。

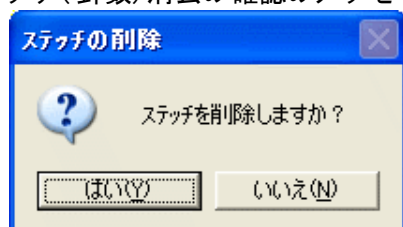
挿入した場合は、柄の形が変わることがあります。注意してください。



削除

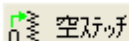
【消去】キー

選択されている柄のステッチ(針数)データの消去を行います。消去キーをクリックすると、現在のステッチ(針数)消去の確認のメッセージダイアログが現れます。



[はい]をクリックすると、変更した柄が表示されます。

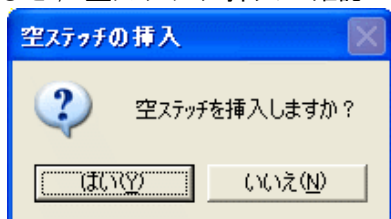
削除した場合は、柄の形が変わることがあります。注意してください。



空ステッチ

【空ステッチ挿入】キー



現在のステッチの前に、空ステッチ(縦、横とも0データ)を挿入します。空ステッチ挿入キーをクリックすると、空ステッチ挿入の確認のメッセージダイアログが現れます。



[はい]をクリックすると、実行します。

色ブロックごとの表示

「簡易編集」において、現在のステッチ（針数）位置の色ブロックのみを表示します。

「データ検索方法」で色替えを選びます。[前進検索]や、[後退検索]で「色替え」を検索する際に、このボタンが押されていると、柄表示は、その色替えの色ブロックのみの表示になります。

以下、図1の柄を色ブロックごとに表示した例を図2、図3に示します。

図1. 通常の柄表示

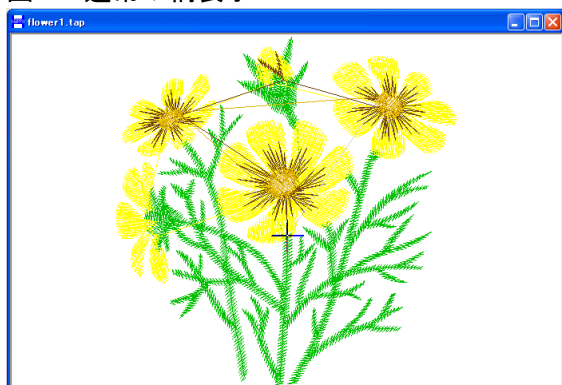


図2. 色ブロックごと表示した場合(1)

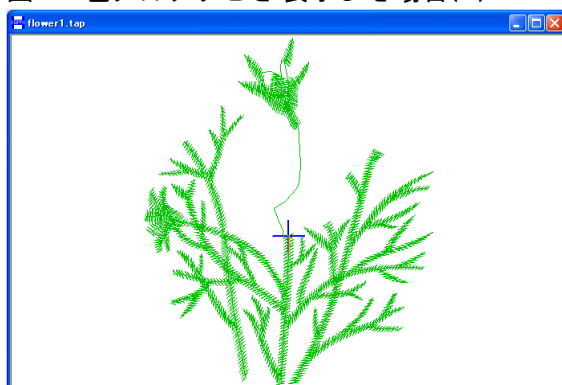
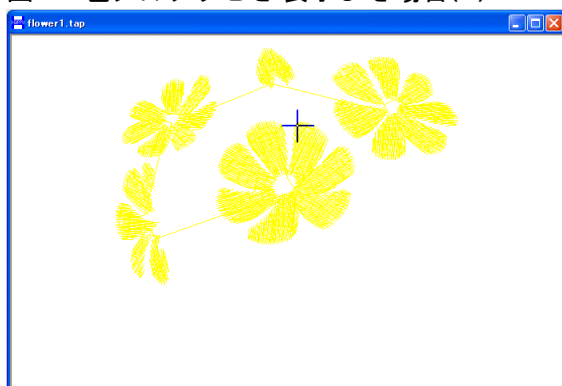


図3. 色ブロックごと表示した場合(2)

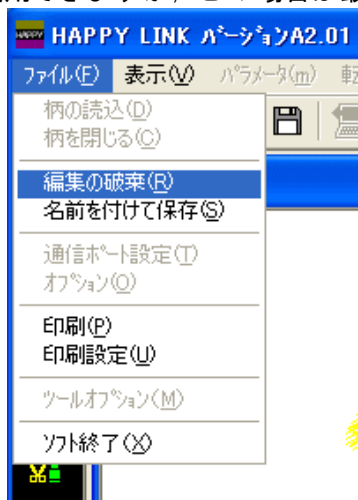


編集内容の破棄

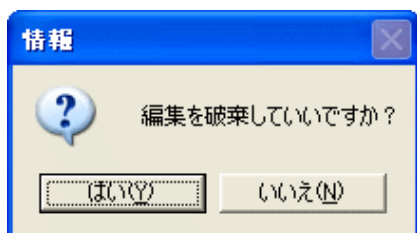
「簡易編集」で変更した内容を破棄し、編集前の針棒選択設定と柄データに戻すことができます。

注意:


「簡易編集」中に、ファイルを保存した場合は、「編集内容の破棄」は使用できません。その後、編集すれば再び使用できますが、この場合は最も最後に保存した時の柄データと針棒設定に戻ります。



メニューの「ファイル」→「編集の破棄」の順にクリックすると、「編集を破棄していいですか？」のメッセージが表示されます。

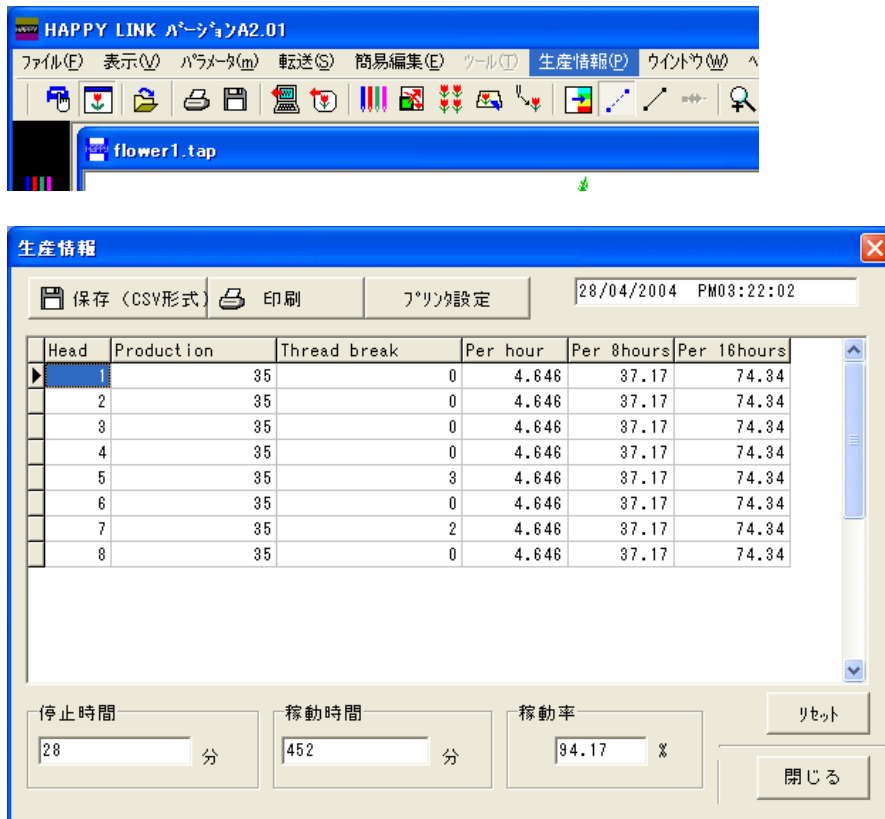


「はい」をクリックすると、編集した内容は破棄され、編集前の内容に戻ります。

編集されているのを示していたインジケータ  は、消えます。

生産データ 表示

対応機の場合は、収集した生産データの閲覧・印刷・ファイル出力をすることができます。
メニューの「生産情報」を選択すると、生産データダイアログを表示します。



生産データダイアログの機能

Head: 刺繍機のヘッド番号 (刺繍機の頭数仕様により変わります)

Production: 刺繍枚数

Thread break: 糸切れ回数

Per hour: 1 時間当たりの刺繍枚数の算出値

Per 8 hours: 8 時間当たりの刺繍枚数の算出値

Per 16 hours: 16 時間当たりの刺繍枚数の算出値

停止時間: 停止時間

刺繍機の電源を入れてからの状態で刺繍機の運転が停止している時間

稼働時間: 稼働時間

刺繍機のスタートボタンを押して運転を始めてから、運転が停止するまでの時間

稼働率: 稼働率

稼働率 = 運転時間 / トータル時間

なお、トータル時間は、刺繍機の電源を入れてから、電源を切るまでの時間で

稼働時間 + 停止時間

になります。

リセット: 全データのクリア

保存: データを CSV ファイルに保存

印刷: データの印刷

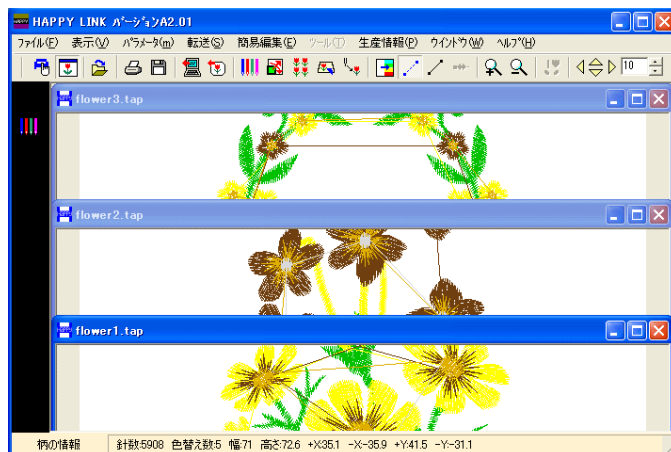
プリンタ設定: プリンターの設定

ウィンドウのファイル表示配置

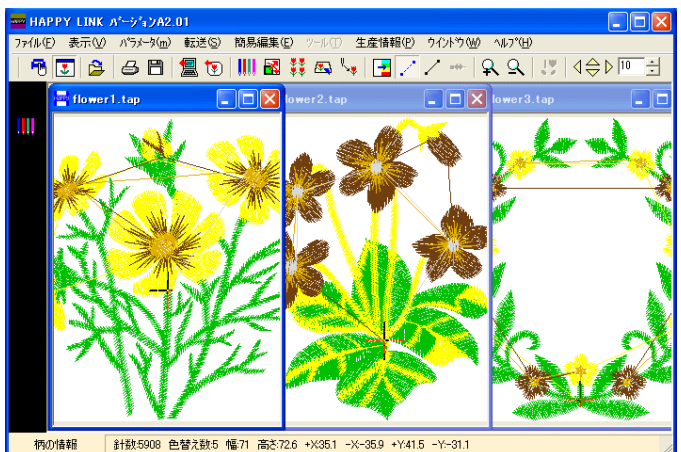
複数の柄の読み込み後、メニューバーの「ウィンドウ」で表示配置を換えることができます。



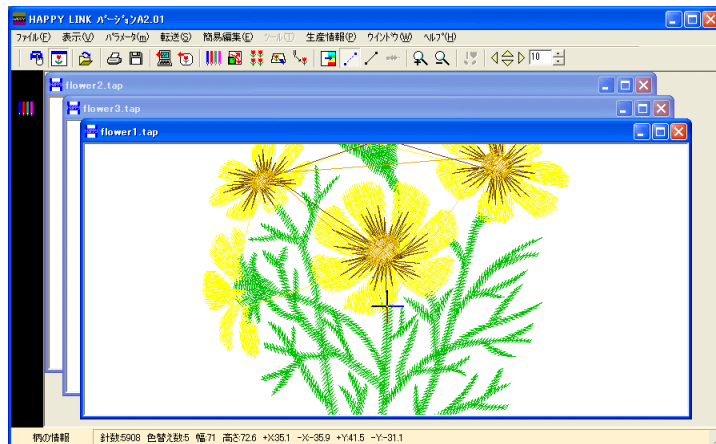
〔縦並べ〕



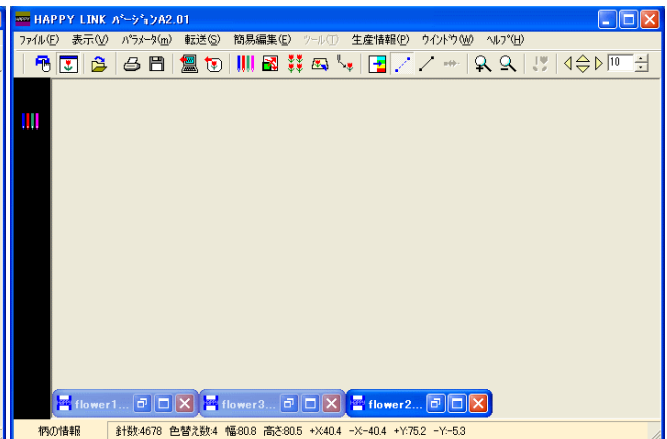
〔横並べ〕



〔重ねて表示〕



〔アイコンの整列〕(柄ファイルを最小化した後、選択すると 整列します)



トラブルシューティング

操作モード関連

Q1. ”通信が切れました！”か

“通信が遮断されています。”か“刺繍機は稼働中です。”

あるいは“刺繍機の準備ができていません。”が表示される

A1. ケーブル接続で接続されていない

シリアルケーブルで、パソコンと刺繍機を接続してください

A2. ストレートケーブルを使っている

クロスケーブルを使用してください

A3. 通信ポート設定が合っていない

メニューバーの「ファイル」ファイル→「通信ポート設定」で通信設定を行って下さい

シリアルケーブルを接続した、パソコン側のポート番号を設定(ポート No.),

さらに通信速度(ボーレート)を、刺繍機の通信速度に合わせてください

A4. 刺繍機を立ち上げ直後に「運転モード」にしていない。

刺繍機側の実行キーを押して「運転モード」にします。

注意:「運転モード」については、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。

A5. 通信ポート設定の「通信チェック」をチェックしている。(HAPPYLink バージョン A1.04 のみ)

「通信チェック」のチェックを外して下さい。

Q2 “USBが準備できていません。ケーブルを接続した後、リンクソフを再起動して下さい”が表示される

USBケーブルはUSB2.0対応の、HI-SPEEDロゴ入りのもので、5m以内のものをご使用ください。

A1. 刺繍機とPCをUSBケーブルで接続されていない。

HappyLink ソフトを起動する前に、刺繍機とPCをUSBケーブルで接続してください。

ケーブルの接続については、「基本的知識と操作」の「準備」を参照して下さい。

A2. USBドライバーが認識されていない。

以下の項目を行った後、もう一度、ソフトを起動して下さい。

1. 刺繍機の電源を切ります。

2. リンクソフトを終了します。

3. パソコンからUSBケーブルを外します。

4. 刺繍機の電源を入れ「運転モード」(刺繍機側で刺繍を開始できる状態)にします。

5. 再度、PCと刺繍機をUSBケーブルで接続します。

注意:

「新しいハードウェア追加ウィザード」が始まった場合は、「ドライバー組み込み」を参照してください。

「運転モード」については、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。

A3. USBドライバーが組み込まれていない。

USBドライバーが組み込まれているか確認します。

確認方法:

PCと刺繍機をUSBケーブルで接続した状態で、

Windows の「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の順に選択し、「システム」を開き、「デバイスマネージャ」を選択します。

ユニバーサルシリアルバスコントローラの欄に「HAPPY Embroidery Machine」が表示されていれば、ドライバーが組み込まれています。

1. 組み込まれていない場合

「ドライバー組み込み」に従い、組み込んでください。

2. 「Unknown…」という表示のデバイスがある、あるいは、「HAPPY Embroidery Machine」の先頭に「！」印あるいは「赤の X」印が付いている。

以下の項目を行った後、もう一度、USBドライバーが組み込まれているか確認します。

2-1. 刺繍機の電源を切ります。

2-2. リンクソフトを終了します。

2-3. パソコンから USB ケーブルを外します。

2-4. 刺繍機の電源を入れ「運転モード」(刺繍機側で刺繍を開始できる状態)にします。

2-5. 再度、PCと刺繍機を USB ケーブルで接続します。

注意:

「新しいハードウェア追加ウィザード」が始まった場合は、「ドライバー組み込み」を参照してください。

「運転モード」については、刺繍機のマニュアルを参照して下さい。

Q3. 操作モードにならない

A1. 「オプション」(オプション)の「刺繍機のタイプ」が「従来機」になっている

「リンクソフト対応」に設定してからプログラムを終了し、立ち上げなおしてください。

A2. 刺繍機側に柄が無い。この時、操作モードボタンをクリックすると、2つのメッセージ「柄がありません。」と「データが得られませんでした。再試行して下さい。」が表示されます。また、操作モードは起動されません。

転送モードで柄を送信してから、再度行って下さい。

転送モード 関連

Q1. 読めないディスクがある

A. 現在サポートしているのは、HAPPYのディスクと、タジマ社のDST・DSB・DSZです。

Q2. 機械からピープ音が出る

A1. データ転送時と転送終了時に出ます。

A2. ソフトのメニューや、ツールボタンをクリックした場合に鳴ります。

Q3. 柄データが転送されない

A1. 機械とパソコンのボーレートが合っていない場合、「エラー90」が表示される。

通信ポート設定を正しく設定し、再度柄を転送します。

Q4. 針棒選択の設定が刺繍機に転送されない

A1. 「専用設定ファイル」が無い場合。

「専用設定ファイル」が作成できるように、「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックします。その後、針棒選択などの設定を行い「専用設定ファイル」を作成します。

A2. 「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックしていない

「各種設定の読み込み/書き込み」をチェックします。

Q5. ”通信が切れました!” か

”通信が遮断されています。” か ”刺繍機は稼働中です。”

あるいは“刺繍機の準備ができていません。”が表示される

A1. 「操作モード関連」を参照して下さい。

Q6. “USBが準備できていません。ケーブルを接続した後、リンクソフを再起動して下さい”メッセージが表示される

A1. USBケーブルで接続されていない

刺繍機とPCをUSBケーブルで接続して、HAPPY Linkを再起動して下さい。

詳しくは、操作モード関連のQ2を参照して下さい。

USBケーブルはUSB2.0対応の、HI-SPEEDロゴ入りのもので、5m以内のものをご使用ください。

用語解説

アイコン

デスクトップ上に単純な図柄で表示されている，ソフトを起動する場合のボタン．

アンインストール

パソコンにインストールしたソフトを削除すること．

インジケータ

機能の動作状態を示す表示デバイス

インストール先

ソフトの実行ファイルを入れておく場所（フォルダ）のこと．

ウィザード

画面に表示した質問にユーザーが回答して，次に進んでいく形式とその表示画面．

ウインドウ

フォーム上で区切られた四角い領域

ウインドウを最大化

フォームをディスプレイ画面全体に最大化すること．

運転モード

刺繍機側で，刺繍を開始できる状態のこと．刺繍機のマニュアルを参照して下さい．

エクスプローラ

ファイルやフォルダを一覧表示したり，ソフトを実行したりできるウインドウの名前．

エクスポート

ファイルを，別のソフトでできるようにデータを変換して保存すること．

オープン

フォームや，ダイアログなどを開くこと．

解凍

圧縮したファイルを元のサイズに戻すこと．

「専用設定ファイル」

Happy フォーマットの柄の各種設定（針棒選択など）を保存しておくファイル。

共有ファイル

他のソフトでも使用されるファイル

クリック

マウスのボタンを押して離すこと。

クローズ

フォームや、ダイアログなどを閉じて終了すること。

クロスケーブル

一般的に同じ機器同士を接続するときに使用するケーブル。両端のピン配列は異なっている。

コントロールパネル

Windows で、OSのさまざまな設定を行うためのフォルダ。

シリアルケーブル

RS232C通信を行うケーブル。

シリアルポート

RS232C接続する時使用するコネクタ。

シリアルポート番号

COM1, COM2 などの RS232Cポートの番号。

シリアル通信

RS232Cケーブルを使用してデータを送受信する通信方法。

数値ボックス

数値を入力するダイアログ。

スクロールバー

ウィンドウの内部全体を見ることができない場合に、これをドラッグし、内部の位置を移動して表示する。

スライダー

ダイアログのパラメータ値を変更する場合に、スライダーをマウスでドラッグして値を変更できる

セットアップ

ソフトのインストール

操作モード

HappyLink の2種類の基本的モードの1つ。刺繍機の設定をパソコンで操作したりできるモード。（もう1つのモードは転送モード）

ソフト

ソフトウェア。プログラムのこと。

ダイアログ

メニューバーや、ツールボタン選択時に表示され、パラメータ入力などを行う画面。

ダブルクリック

クリックを素早く 2 回連続で行うこと。

通信速度

RS232C 通信でのデータ転送時のスピードで、単位は bps で示す。(ボーレート)

ツールボタン

ソフトで、ある機能が入った図柄付きボタン。

ディスクフォーマット

柄データファイルの拡張子形式

データフォーマット

柄データファイルの中のデータの配置規則。

ディレクトリ

ディスクで階層構造の基本となっている、ファイルを保存する入れ物の概念。フォルダ。

デスクトップ

Windows 起動時にできる基本的なディスプレイ上にできるアイコンの並んだ画面のこと。

転送モード

HappyLink の 2 種類の基本的モードの 1 つ。パソコンから、柄を読み込んで、針棒選択などの設定を行い、そのデータを刺繍機に送信することができるモード。(もう 1 つのモードは操作モード)

ドライバー

パソコンに接続した機器を制御するプログラム。(デバイスドライバー。)

ドライブ

補助記憶装置のこと。

ドラッグ

マウスボタンを押したまま、マウスを移動すること。

ドラッグ & ドロップ

ドラッグした後、マウスボタンを離すこと。

ハードディスク

パソコンの固定ディスク。

バックアップ

データをフロッピーディスク（FD）などにコピーしておくこと。

針棒選択

多色刺繍機は、各針毎に、異なる色の刺繍糸がセットされています。このため、針棒を変えることによって、刺繍する色を変えることができます。

刺繍は一般に、ブロック毎に何色かの糸を使って刺繍します。刺繍データには、模様ブロック毎に「色替えデータ」が入っていて、そのブロックをどの糸で刺繍するかを指定しておくことができます。この指定が「針棒選択」です。刺繍するブロック順に、針の番号を指定していきます。

フォーム

ソフト起動後に表示される全体の画面

フォルダ

パソコンで、ファイルなどを保管する物の一般的な呼び名。

フォント

文字の書体やそのデータ。

フロッピーディスク

磁気記録媒体の1つ。

ポート番号

パソコンと周辺機器をつなぐコネクタ部分の番号。

ボーラー

布に穴を開けるためのメス。

メニューバー

Windowsで、フォームの上部にあり、機能を集めた部分。「ファイル」、「編集」…の部分。

メモリ

パソコンの中にあり、データなどを記憶しておく部分。

リネーム

柄の名前の変更

ボーレート

RS232C通信速度

RS232C

シリアルインターフェイスとして使われている規格で、パソコンと周辺機器（刺繍機）間のデータ転送に使用される。パソコン側では、COM1, COM2のような論理番号を付けている。

EIA

米国電子工業会（Electronic Industries Alliance）の略

OS

コンピュータのシステムを管理するソフトウェア。（基本ソフトウェア）

PC

パソコン（Personal computer の略）。

USB

パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格。